

## Ⅱ. 12年後の開通を控えた飯伊地域の意識と期待 ～2015年実施アンケート調査から～

本調査の中で取り組んだアンケート調査の結果について本章で述べる。

### リニア中央新幹線に関するアンケート調査

#### 1. 本調査の趣旨

リニア中央新幹線開通について、地域の個人および事業所の関係者に対しアンケートによる意識調査を行うことにより、リニア新幹線への関心度合、リニア設置に関する要望、リニア時代を迎える飯田下伊那を中心とした地域の課題、リニア時代を迎える企業経営上の課題などを明らかにする。

#### 調査の概要

アンケート実施機関	飯田信用金庫、信金中央金庫、しんきん南信州地域研究所
アンケート調査実施主体	飯田信用金庫、信金中央金庫、しんきん南信州地域研究所
アンケート調査機関	飯田信用金庫、信金中央金庫、しんきん南信州地域研究所
調査方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 飯田信用金庫経営相談所発行「飯伊地区産業経済動向」9月発行号に調査票を同封 以上の調査票は郵送にて回収した（147件）</li> <li>・ 飯田信用金庫職員が無作為に抽出した飯田信用金庫お取引先に対する調査依頼 以上の調査票は郵送による回収もしくは飯田信用金庫職員による調査票の回収を行った（104件）</li> <li>・ 愛知大学地域政策学部阿部ゼミフィールドスタディのため飯田信用金庫を訪問した学生に対する調査依頼（16件）</li> <li>・ インターンシップで飯田信用金庫を訪問した学生に対する調査依頼（19件） 上記2件の調査票回収はその場で行った</li> <li>・ 飯田信用金庫主催「リニアを見据えた観光フォーラム」参加者への調査依頼（44件）。 回収はその場および郵送により行った。</li> </ul>
配布先	1,331通
配布数・回収数	330通
調査項目	別紙アンケート調査票の通り
分析内容	後述の通り

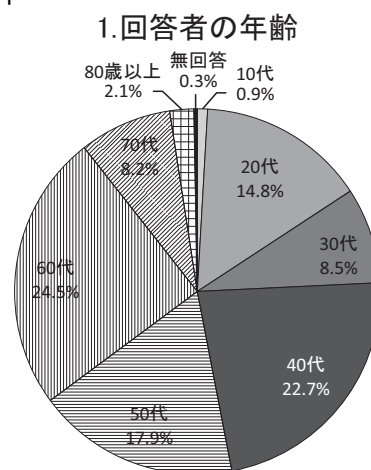
## 2. アンケート調査の結果 ～個人・事業所共通～

アンケート調査票は、前半・後半の2部で構成され、前半は＜個人・事業所共通＞編として全員に回答いただいている。回収数は330件であった。

### (1) 回答者の年齢

- ・60代が最も多く（24.5%）、次いで40代、50代、20代、30代の順。
- ・20代は、当金庫インターンシップ研修受講者（飯伊地域出身者）、当金庫へのフィールド調査に来訪した大学生（県外）を含んでいる。（図表Ⅱ-2-1）

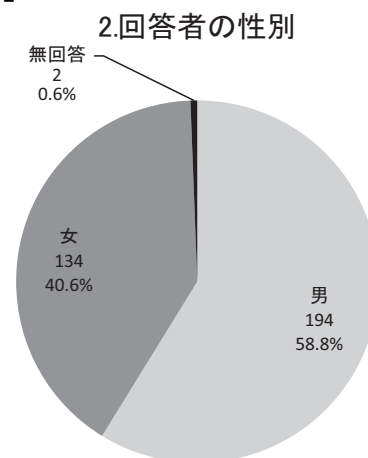
図表Ⅱ-2-1



### (2) 回答者の性別

- ・男女比ではほぼ6対4の比率となっている。（図表Ⅱ-2-2）

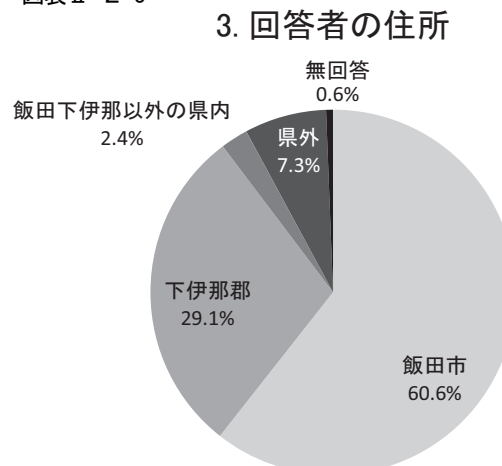
図表Ⅱ-2-2



### (3) 回答者の住所

- ・飯田市居住者が60.6%
- ・下伊那郡居住者が29.1%
- ・残りの約1割が飯田下伊那以外。うち県外が7%、飯田下伊那以外の県内が2%となっている。

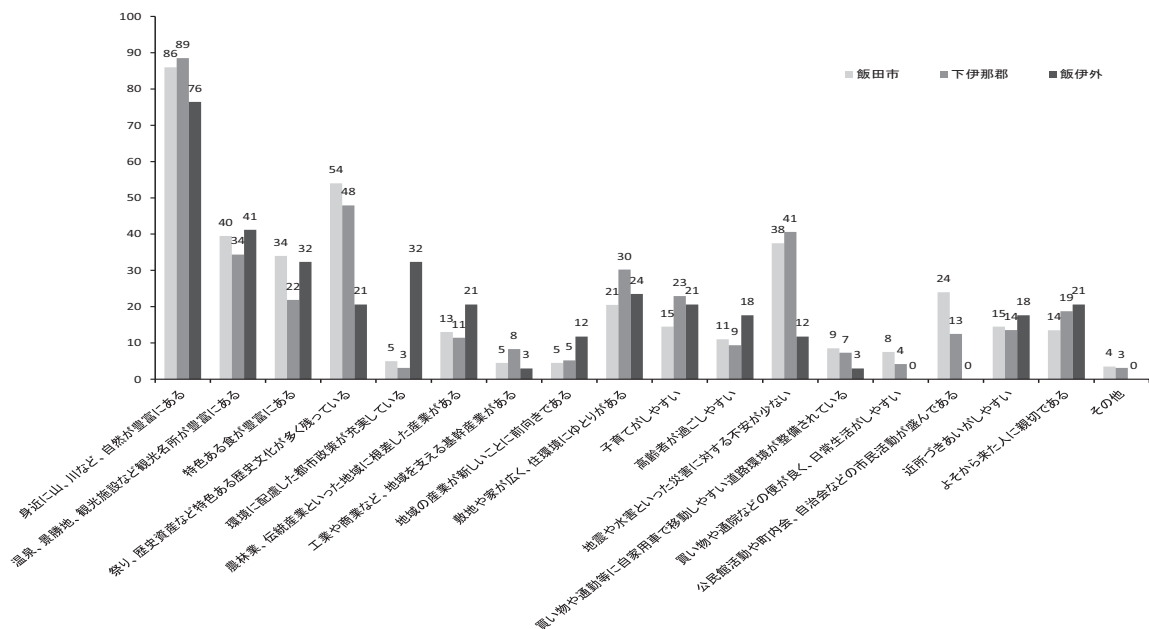
図表Ⅱ-2-3



#### (4) 飯田下伊那の魅力

- ・「他の地域の方に伝えたい飯田下伊那の魅力」「飯田下伊那以外の方から見た飯田下伊那の魅力」という設問。18の選択肢から5つ以内を選択していただく回答方式で行った。
- ・各項目の挙げられた数を、各住所区分の回答数（飯田市=200、下伊那=96、飯伊外=34）で除した比率（%）で表示。ある項目を全員の方が選択されていると100（%）となる。
- ・飯田市は、①「自然が豊富」、④「特色ある歴史文化」、②「観光名所が豊富」、⑫「災害に対する不安が少ない」、③「特色ある食が豊富」の順。
- ・下伊那郡は、①「自然が豊富」、④「特色ある歴史文化」、⑫「災害に対する不安が少ない」、②「観光名所が豊富」、⑨「住環境にゆとり」の順。
- ・飯田市、下伊那郡ともに、1位に①「自然が豊富」、2位に④「特色ある歴史文化」が挙げられたのは共通している。
- ・飯伊地域以外でも、①「自然が豊富」、④「特色ある歴史文化」の順となっている。

図表Ⅱ-2-4 飯田下伊那の魅力は



回答者住所区分（飯田市、下伊那郡、飯伊外（飯田下伊那以外の県内および県外））による差異に直目すると、

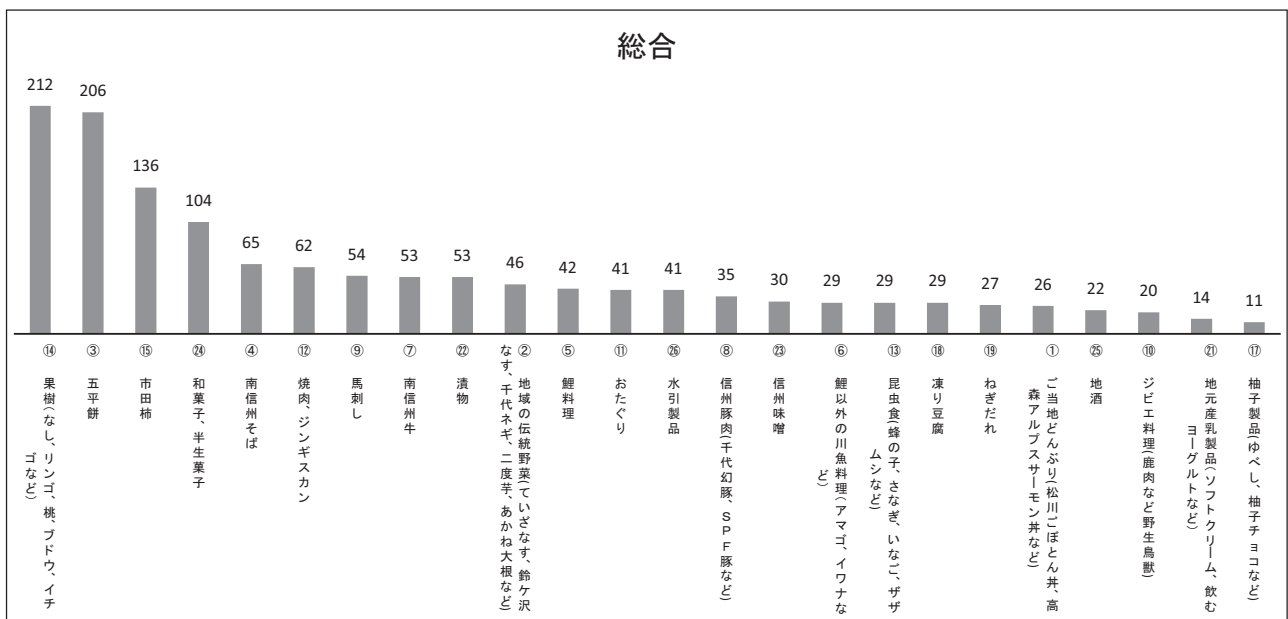
- ・①「自然が豊富」は3区分とも評価が高い。
- ・⑤「環境」については、飯田市、下伊那郡では低い水準。飯伊外では評価が高い。これは飯伊外の回答者の大半が学生で、フィールドスタディ等に当地を訪れている方に依頼したため、環境等に対する意識が高いか環境（政策）についての情報を得ていた人達であったことが一因と考える。
- ・⑥、⑦、⑧の産業関連項目は、⑥「農林・伝統産業」はやや高いものの、飯田市、下伊那、飯伊外とも評価は低い。
- ・⑫災害に対する安全性については、飯田市、下伊那郡の評価は高いが、飯伊外の評価は高くない。地域外へこのことのアピールは十分でないといえることができる。
- ・⑬⑭の買い物等生活の利便性については総じて評価が低い。
- ・⑮公民館活動等の住民活動については地区外の評価は高くない。

## (5) 食べて買ってもらいたい飯田下伊那のもの

### ～飯田・下伊那の食～

- ・「他の地域の方に食べて買ってもらいたいもの、買ってもらいたいもの」「飯田下伊那に来たら食べて買ってもらいたいもの・買ってもらいたいもの」という設問。28の選択肢から5つ以内で選択してもらった。
- ・選択肢の内容が食に関するものが大部分でかつ選択肢の順番で先になっているため、工業製品などの特産品を選択するのが少なくなったということも考えられる。
- ・総合ではトップスリーが⑭「果樹」、③「五平餅」、⑮「市田柿」の順となっている。
- ・飯伊の果実は、生産の規模が大きく種類・品種がバラエティに富んでおり、多くの支持を得た。果物（「モノ」）と果物狩り（「コト」）の両面から、また生産・流通の経済的影響度などから選択されているものと考えられる。
- ・五平餅は伊那谷のソウルフード。
- ・市田柿は果実加工品として以前から当地域の重要産業で、第6次産業の先駆けというべきものであるが、地区内各所で取り組まれている各種加工品は市田柿には大きな差をつけられており、新規の加工品目が大きく成長していくためには課題があることが窺える。
- ・「飯田は菓子どころ」という認識が定着していると考えられる。
- ・中位となっているが、⑫「ジンギスカン」、⑦「南信州牛」、⑧「信州豚肉」、⑨「馬刺し」、⑩「ジビエ料理」、⑪「おたぐり」、⑬「焼肉、ジンギスカン」など食肉関連項目を合わせると265となりトップとなる。肉に関する食文化の厚い地域であるといえる。

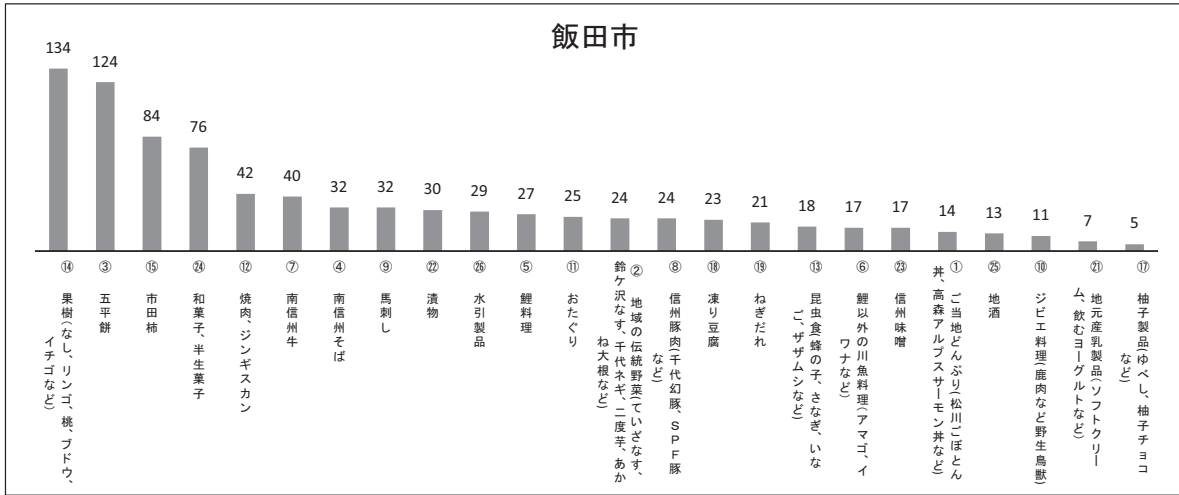
図表Ⅱ-2-5 食べて買ってもらいたい飯田下伊那のもの



- ・飯田市についてみると、トップスリーは総合と同様、「果樹」、「五平餅」、「市田柿」の順である。

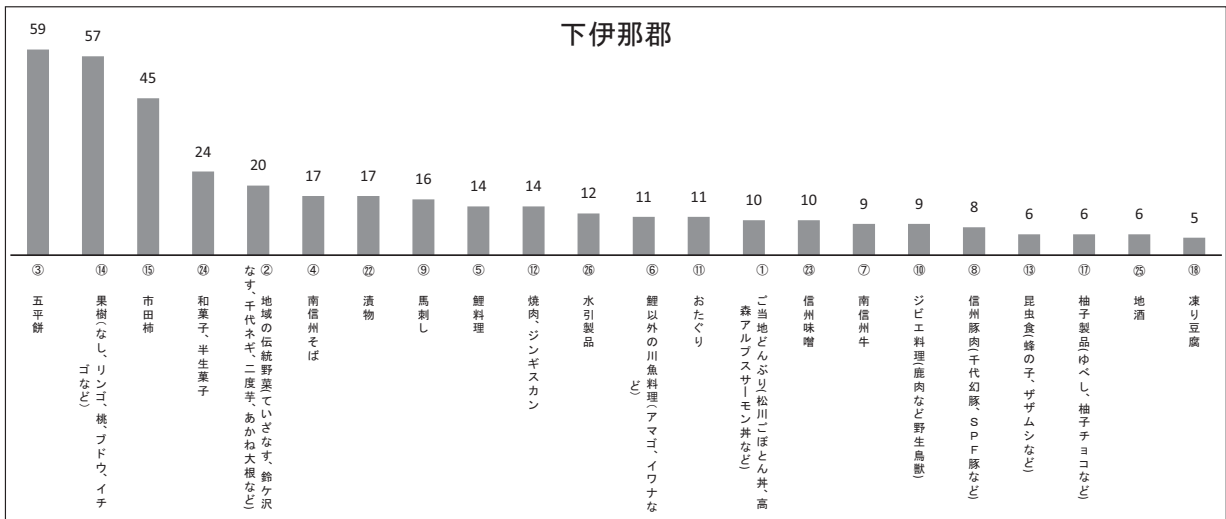


図表Ⅱ-2-6 食べて買ってもらいたい飯田下伊那のもの



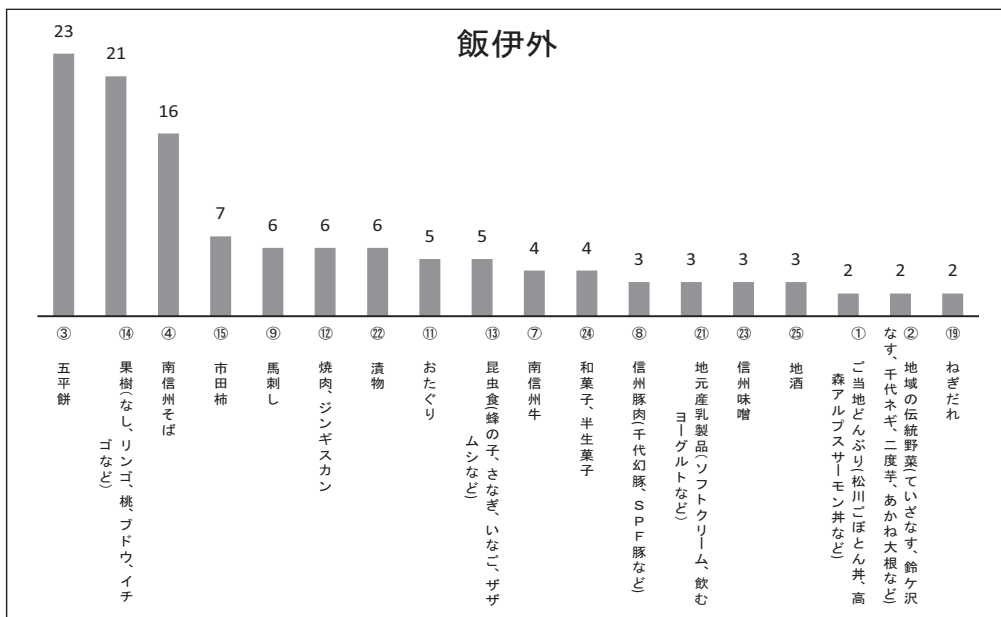
- ・下伊那郡は、「五平餅」、「果樹」、「市田柿」の順。
- ・順位の違いがあるものの、トップスリーは飯田市、下伊那郡で共通している。

図表Ⅱ-2-7 食べて買ってもらいたい飯田下伊那のもの



- ・飯伊地域以外では、「市田柿」に代わって「南信州そば」が第3位に入った。

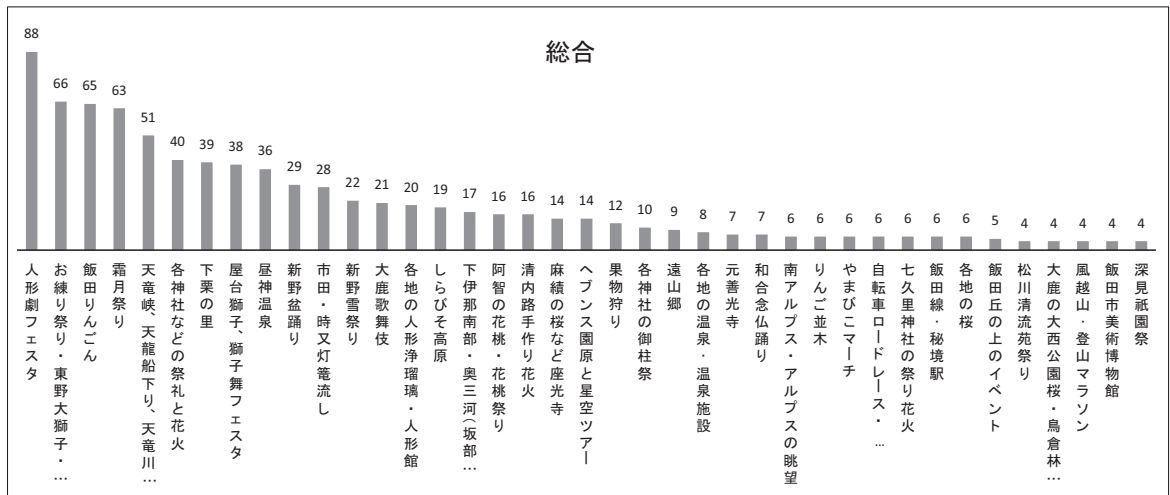
図表Ⅱ-2-8 食べて買ってもらいたい飯田下伊那のもの



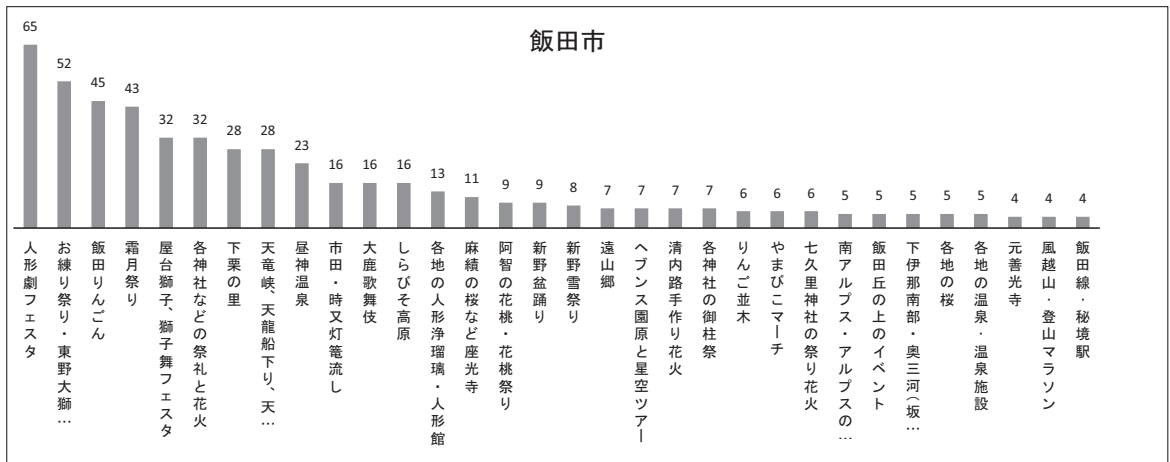
(6) 紹介したい飯田下伊那の祭り、イベント、場所

- ・「他の地域の方に紹介したい祭り、イベント、場所」「7飯田下伊那に来たら行ってみたい祭り、イベント、場所」を5つ以内で記入、という設問。
- ・自由記入・複数回答可のため、その答えは様々なものが挙げられた。地域の皆さんお一人お一人がこだわりのマイ・イベントやマイ・プレイスをお持ちであり、それが多岐にわたっている。
- ・ひとくくりにはできない当地域の魅力が、結果として現れたといえるのではないかな。

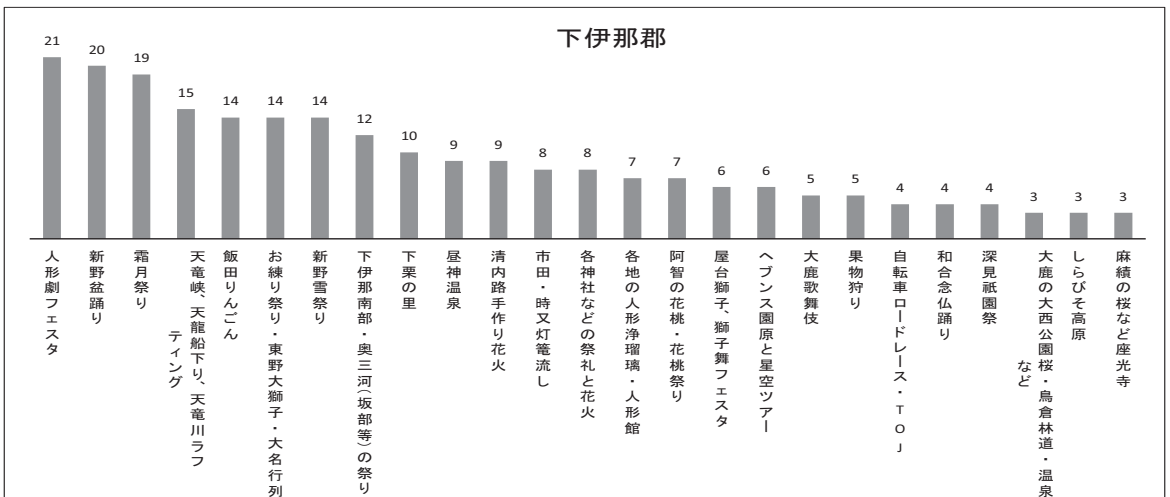
図表Ⅱ-2-9 紹介したい飯田下伊那の祭り・イベント・場所



図表Ⅱ-2-10 紹介したい飯田下伊那の祭り・イベント・場所



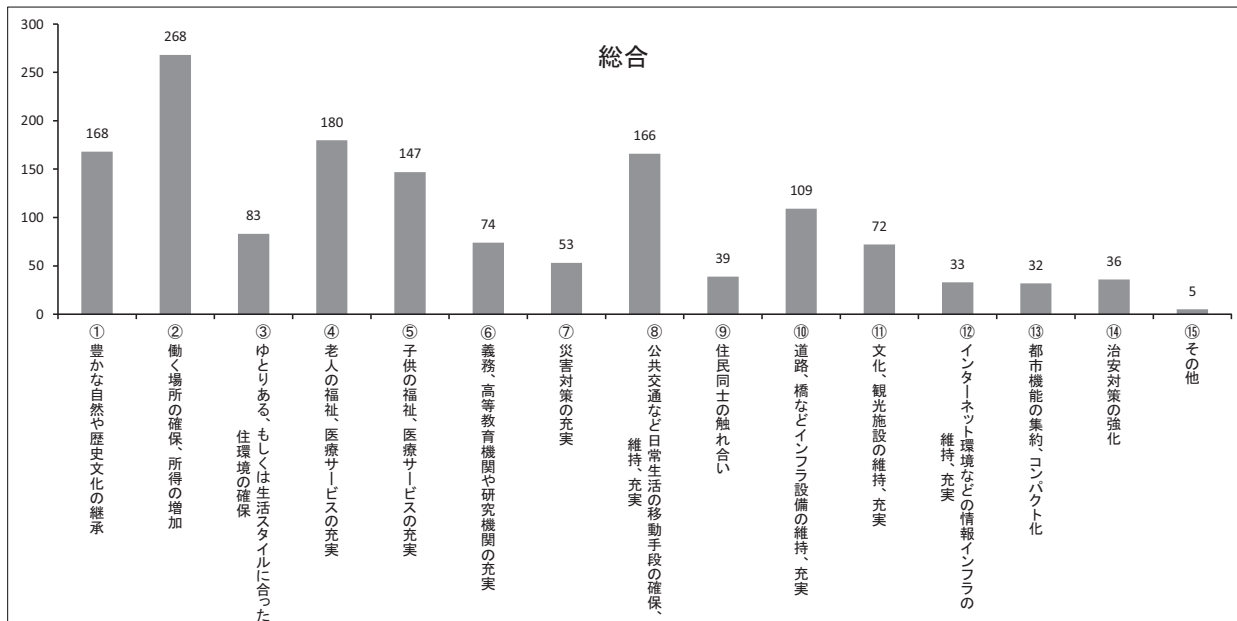
図表Ⅱ-2-11 紹介したい飯田下伊那の祭り・イベント・場所



### (7) 将来この地域に住み続ける上で必要なこと

- ・「将来この地域に住み続けていく上で必要なことは何ですか」「将来、この地域に住むとしたら何が必要なことだと思いますか」と尋ね、15の選択肢から5つ以内で選んでいただいた。
- ・「この地域に住み続ける」という観点から、飯田市、下伊那郡に居住している方のみの集計とした。
- ・総合、飯田市、下伊那郡ともトップは「②働く場所の確保、所得の増加」であった。(図表Ⅱ-2-12～Ⅱ-2-14)
- ・第2位は、総合、飯田市、下伊那郡とも「④老人の福祉、医療サービスの充実」であった。
- ・第3位は、総合、飯田市では「⑧公共交通など日常生活の移動手段の確保、維持、充実」であったのに対し、下伊那郡は「⑤子供の福祉、医療サービスの充実」が「⑧公共交通…」を僅かではあるが上回っている。

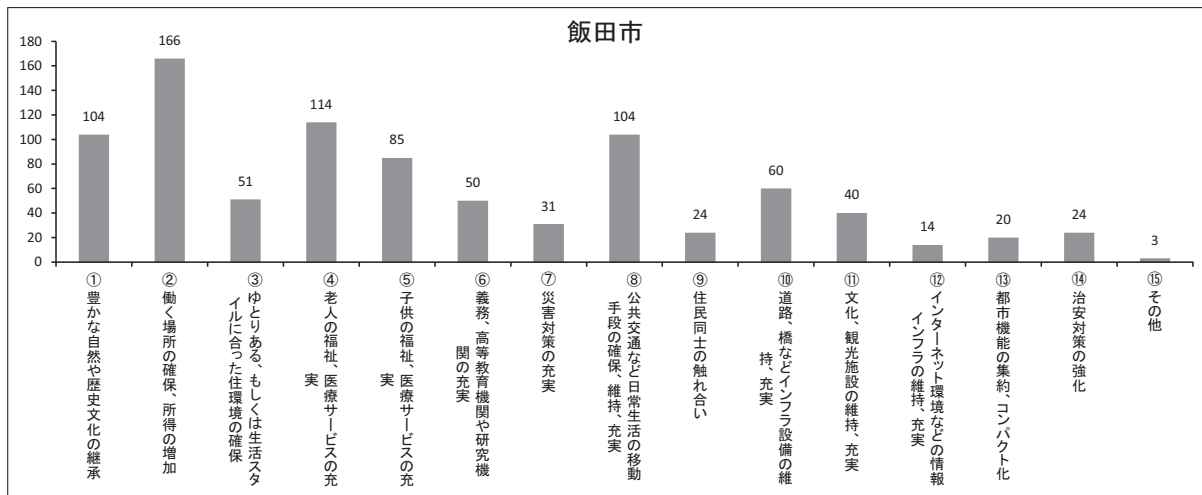
図表Ⅱ-2-12 将来この地域に住み続ける上で必要なこと



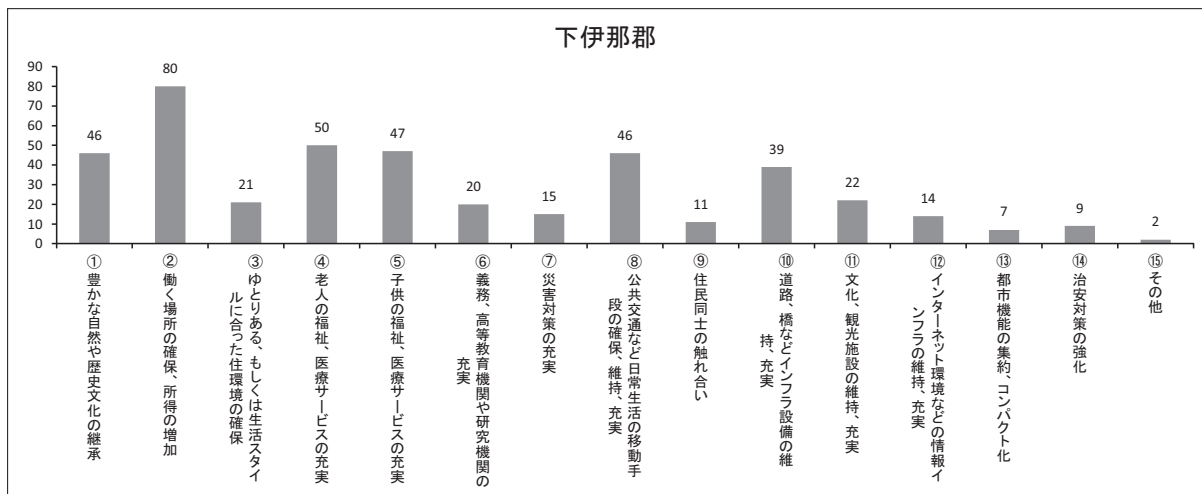
飯田市と下伊那郡の差異について、百分比グラフ(図表Ⅱ-2-15)を併せて用いて着目すると、

- ・「④老人の福祉、医療サービスの充実」と「⑤子供の福祉、医療サービスの充実」とをみると、両者とも「④老人の福祉、医療…」が「⑤子供の福祉、医療…」を上回っているが、下伊那郡は「⑤子供の福祉、医療…」が「④老人の福祉、医療…」と肩を並べる水準になってくる。下伊那郡は老人の福祉・医療要求度が飯田市より低く、子供の福祉・医療サービス面での要求度が飯田市より高い状況になっている。飯田市と下伊那郡での、老人向けサービスと、子供向けサービスの状況が表れているとも考えられる。
- ・「⑩道路、橋などインフラ施設の維持、充実」「⑪文化、観光施設の維持、充実」「⑫インターネット環境など情報インフラの維持、充実」の項目が下伊那郡でより高く出ていることが判る。
- ・「①豊かな自然や歴史文化の継承」「⑧公共交通など日常生活の移動手段の確保、維持、充実」、「⑬都市機能の集約、コンパクト化」「⑭治安対策の強化」などは飯田市のほうが強く出ている。

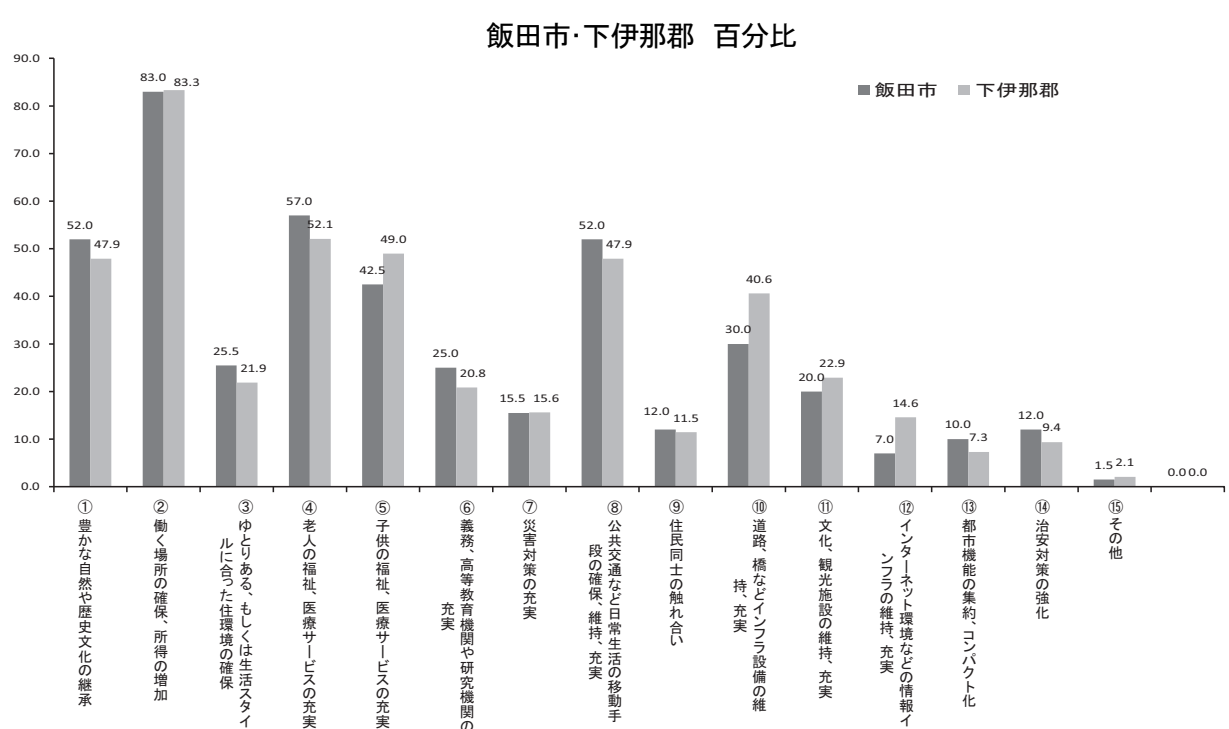
図表Ⅱ-2-13 将来この地域に住み続ける上で必要なこと



図表Ⅱ-2-14 将来この地域に住み続ける上で必要なこと



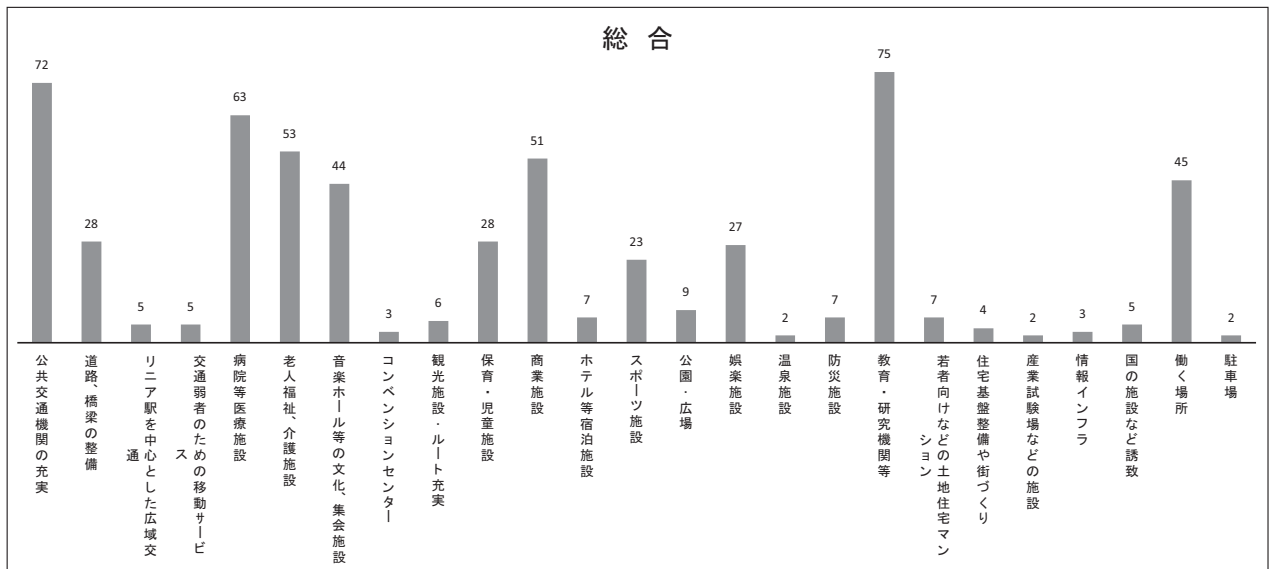
図表Ⅱ-2-15 将来この地域に住み続ける上で必要なこと



### (8) 将来この地域に住み続けるのに必要な設備・施設

- ・「将来この地域に住み続けていくために足りない施設は何ですか」「将来、この地域に住むとしたら、どのような施設、設備が必要だと思いますか」という設問で、5つ以内を自由記入で回答いただいた。
- ・様々な言い回しや多様な表現での回答があり、ひとくくりに集約できないものであったが、敢えて集約した結果、以下の通りとなった。(図表Ⅱ-2-16)

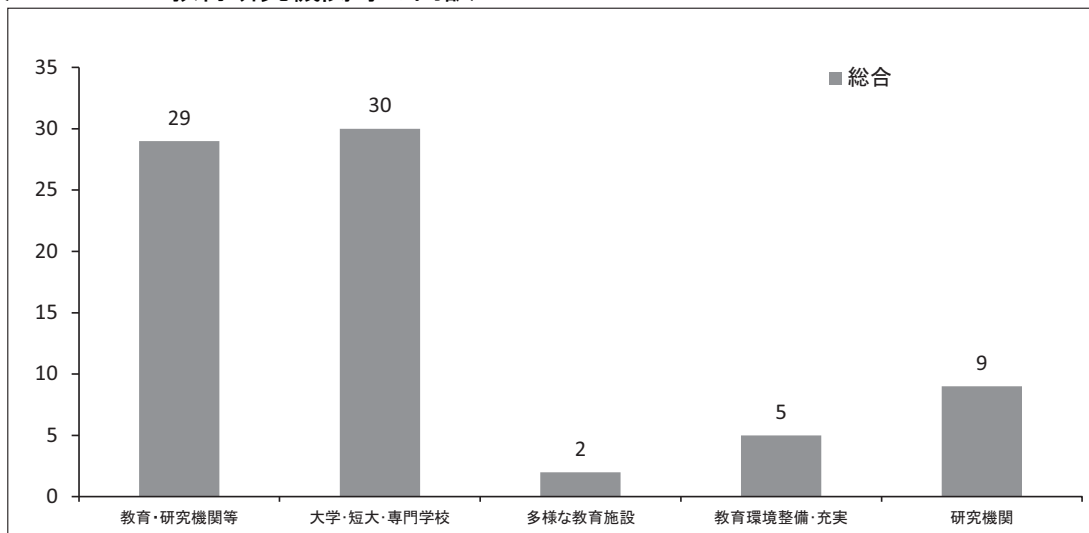
図表Ⅱ-2-16 将来この地域に住み続けるのに必要な設備・施設



### (7) 教育研究機関

- ・総合で第1位は「教育研究機関等」で総数は75となっている。
- ・教育研究機関等に関して様々な表現がされていたが、更に細分化すると下図(図表Ⅱ-2-17)の通りとなる。

図表Ⅱ-2-17 教育研究機関等の内訳



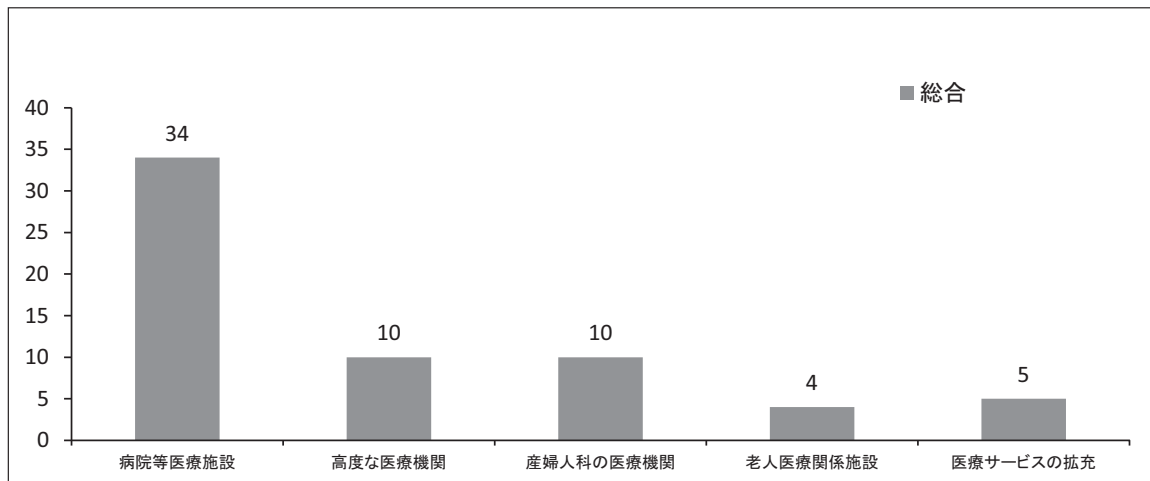
- ・「四年制大学」「大学院併設の大学」「短大」など具体的に書かれていたものが30に上った。
- ・「多様な教育施設」には、フリースクールなど現状の公教育とは性格を異にした教育施設が要望されている。

- ・「大学院レベルの研究所」「企業の研究所誘致」などの研究機関が必要、とする意見が9あった。
- ・ハード面ではなく、「教育環境の充実」とどちらかというソフト面の整備・充実を求める意見が9件あった。
- ・当地域に大学を設置して若者が居る状況をつくりたいという思いは強いといえる。
- ・総合第2位は、「公共交通機関の充実」で72であった。

#### (イ) 病院等医療施設

- ・総合第3位は、「病院等医療施設」で63となった。  
医療関係施設についての内容では（図表Ⅱ-2-18）、「飯田市立病院を上回る施設」「高度先端医療を手がける施設」といった「高度な医療機関」意見が10あった。
- ・「産婦人科の医療施設」「安心して子供を生める施設」などが10あった。
- ・「老人医療向けの医療機関」が4あった。
- ・ハード面だけでなく、「医療サービスの拡充」というソフト面についての意見が5あった。

図表Ⅱ-2-18 病院等医療施設の内訳



#### (ウ) 老人施設・介護施設

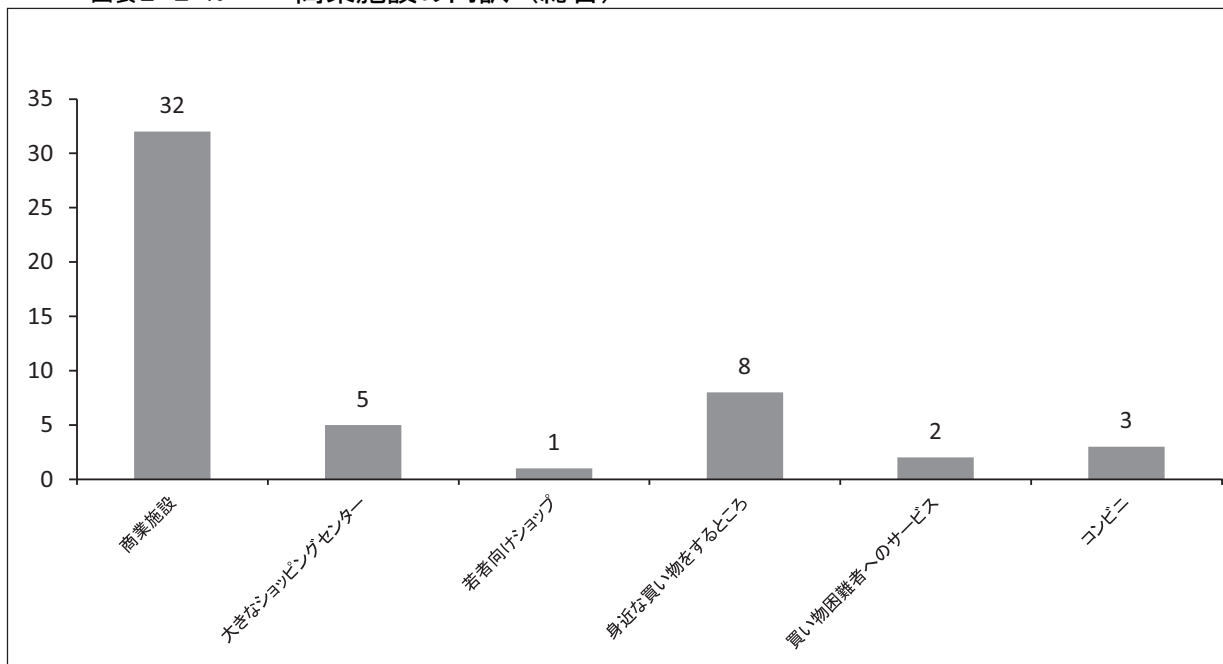
老人施設・介護施設には一般的な介護施設のほか、ケア付きマンションや を含んでいる。

#### (エ) 商業施設

商業施設関連の内訳をみると（図表Ⅱ-2- ）、

- ・「大きなショッピングセンター、ショッピングモール」など大型商業施設（5）が挙げられている反面、「身近な買い物をするところ」も挙げられている（8）。身近なところで最寄品の購買が不便になっている現実が窺える。
- ・「買い物困難者へのサービス」（2）として「移動販売車」「買い物配達サービス」が具体的に挙げられている。
- ・「コンビニエンスストア」を挙げられており（3件）、コンビニエンスストアが基本的なインフラと認識されている状況が窺われる。

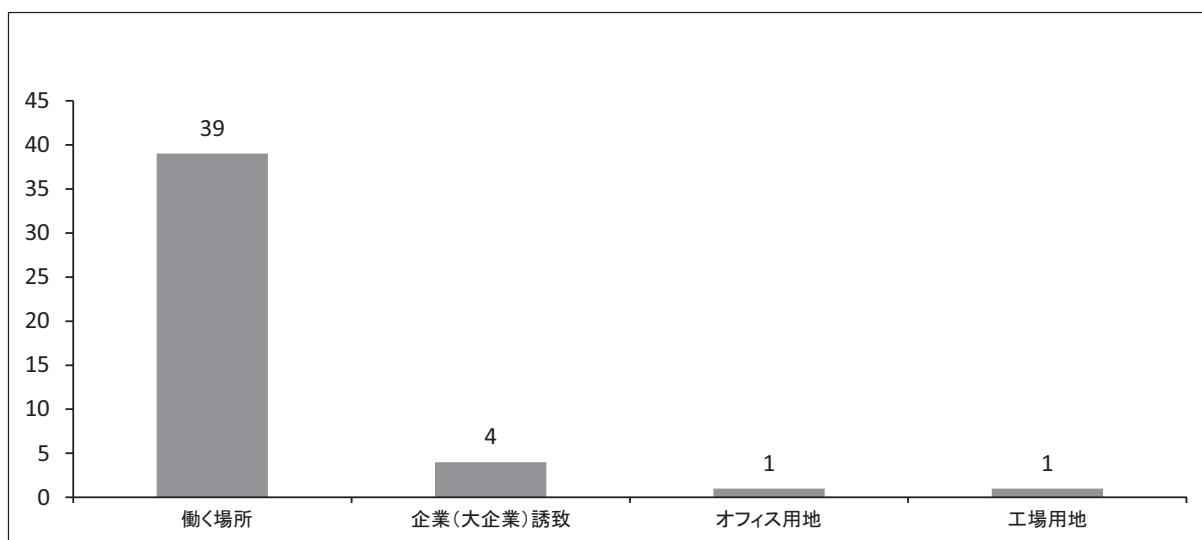
図表Ⅱ-2-19 商業施設の内訳（総合）



(オ) 「働く場所」について

「働く場所」は第6位（45）であったが、その中には、「働く場所」「雇用の場」「若い人が就職できる職場」などが39件、その他「企業（大企業）の誘致」を挙げたのが4件あった。その他、「オフィス用地（の確保）」「工場用地（同）」という企業立地のための施策が提言された回答も各1件あった。

図表Ⅱ-2-20 「働く場所」の内訳（総合）

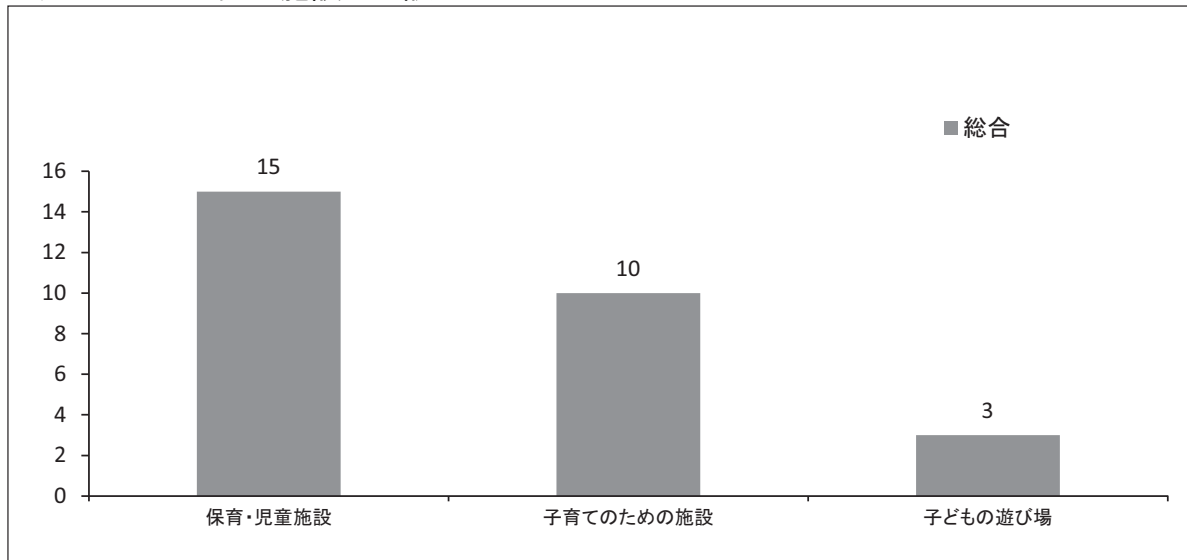


(カ) 児童施設について

「児童施設」としてまとめた中の細目には以下のものがあつた。これをみると子育て環境としては単に保育所・幼稚園といったものだけではなく、「住宅地付近で子供が安心して遊べる場所」「児童館」「障がいのある子の子育て施設」「働く親のための連携機関」など多様な要望が出されている。



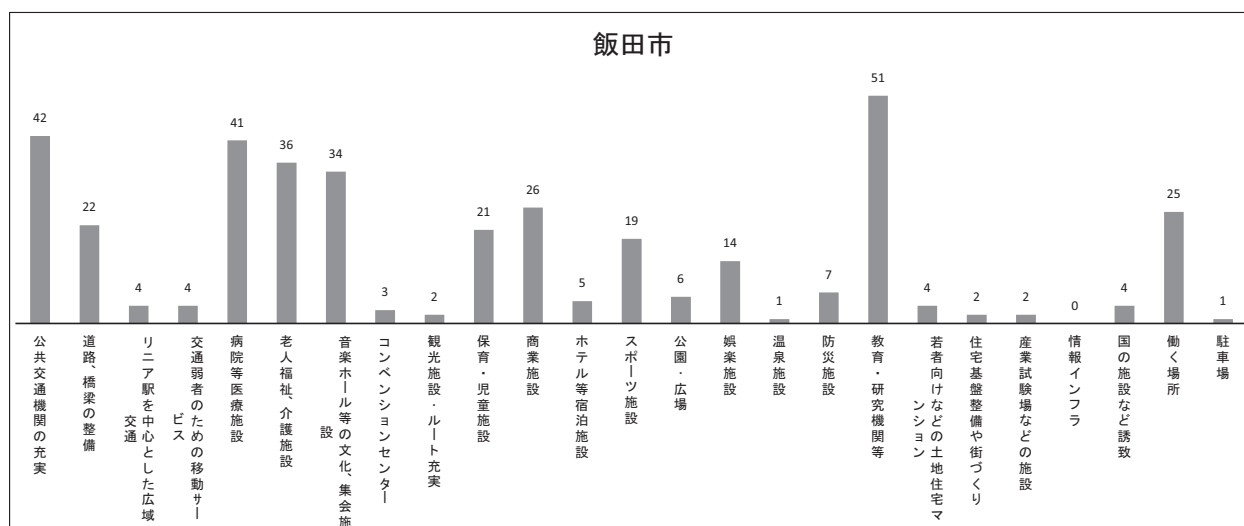
図表Ⅱ-2-21 児童施設の内訳



(キ) 飯田市・下伊那郡での差異

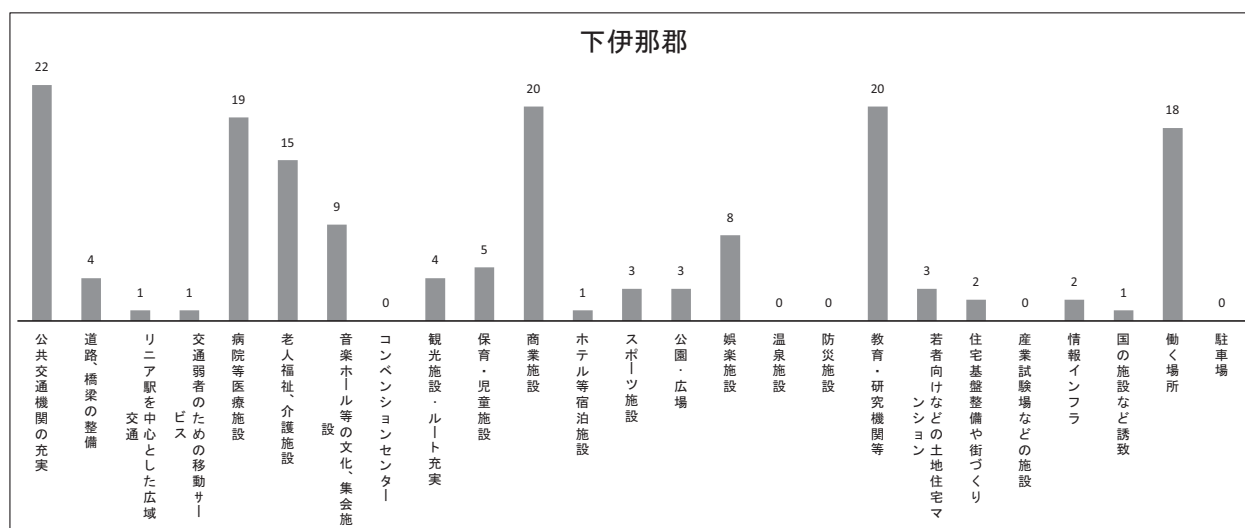
- 両地区間での差異に着目すると（下欄および次頁 図表Ⅱ-2-22、Ⅱ-2-23）、
- ・飯田市の順位は、①「教育・研究施設」(51)、②「公共交通機関の充実」(42)、③「病院等医療施設」(41)、④「老人福祉・介護施設」(36)、⑤「音楽ホール等の文化、集会施設」(34)、⑥「商業施設」(26)、⑦「働く場所」(25)、⑧「道路、橋梁等の整備」(22)、⑨「保育・児童施設」(21)、⑩「スポーツ施設」(19) となっている。
  - ・下伊那郡の順位は、①「公共交通機関の充実」(22)、②同率で「商業施設」と「教育・研究施設」(20)、④「病院等医療施設」(19)、⑤同率で「娯楽施設」と「働く場所」(18)、⑦「老人施設、介護施設」(15)、⑧「音楽ホール等の文化、集会施設」(9)、⑨「保育、児童施設」(5)、⑩「道路、橋梁の整備」と「観光施設・ルート充実」(4) となった。
  - ・飯田市では「音楽ホール等の文化、集会施設」の順位が高く、下伊那郡では「商業施設」「娯楽施設」の順位が高いといえる。
  - ・また、「老人施設」は飯田市が下伊那郡に対して上位に位置している。「働く場所」は下伊那郡がより高く出ている。

図表Ⅱ-2-22 将来この地域に住み続けるのに必要な設備・施設



図表Ⅱ-2-23

将来この地域に住み続けるのに必要な設備・施設



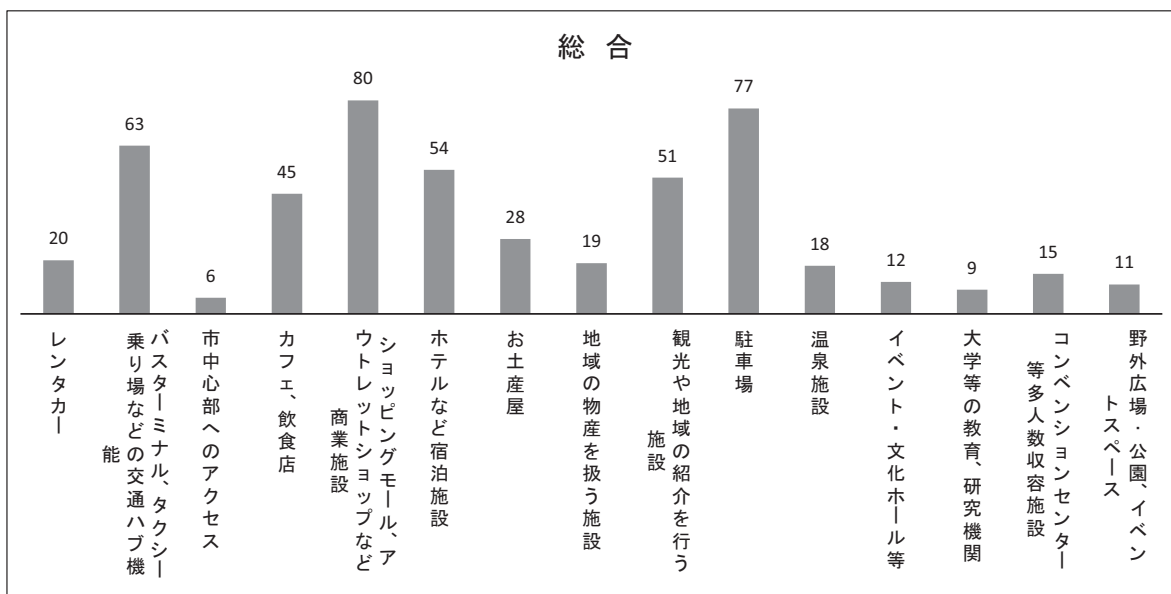
(9) リニア本線・関連事業への認知度

I章(4)リニアおよびリニア関連工事の認知度(37頁)で取り上げたので省略する。

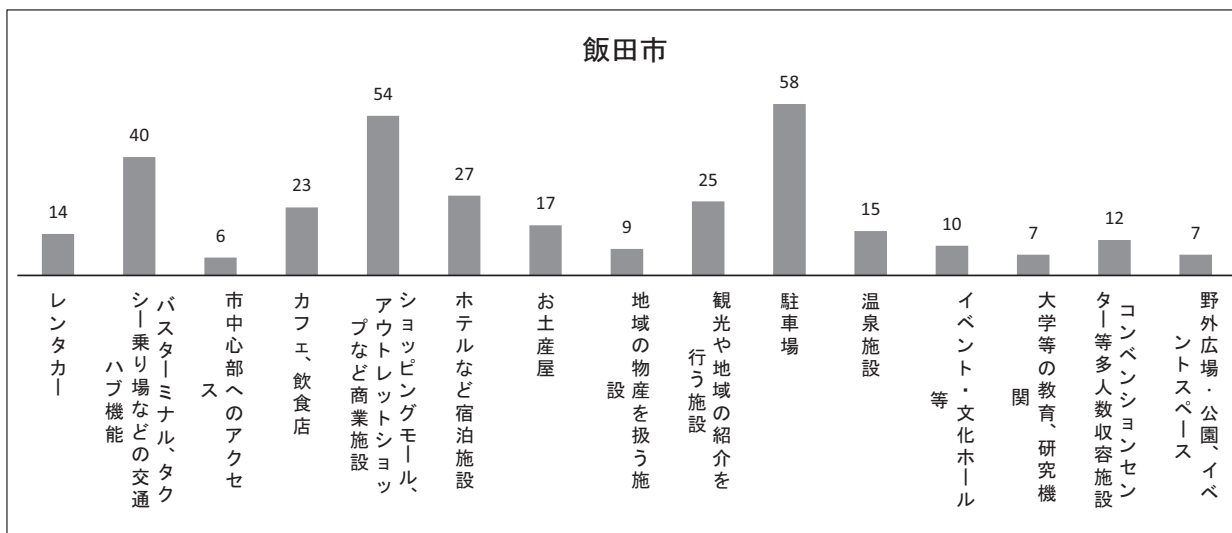
(10) リニア駅周辺にあって欲しい設備・施設

- ・「リニア中央新幹線長野県駅周辺にあって欲しい設備、施設はなんですか。また、それはそのようなものなら良いと思いますか」との設問に自由記入で3つ以内で解答いただいた。
- ・自由記入だったため、バラエティに富んだ回答があり、ひとくくりにできないものであったが、敢えて集計すると次頁グラフ(図表Ⅱ-2-24)の通りとなった。
- ・「駐車場」「バスターミナル・タクシー乗り場」「レンタカー」など交通ネットワーク・ハブ機能関連のものその他、「観光や地域の紹介を行う施設」「地域の特産を扱う施設」「お土産屋」「カフェ、飲食店」など駅機能の付加価値を高めるものについて回答があった。具体的に「道の駅のようなもの」といったイメージを伴った提案があった。
- ・商業施設では、「コンビニエンスストア」など駅利用者の利便性を図るものから、「ショッピングモール」「アウトレット」といった長野県駅に人を呼び、当駅で人が降りてもらうための施設を意識したものと思われるものがあった。
- ・広く駅周辺ということで「イベント・文化ホール」「大学等の教育研究機関」「コンベンションセンター等多人数集会施設」などの提案があった。

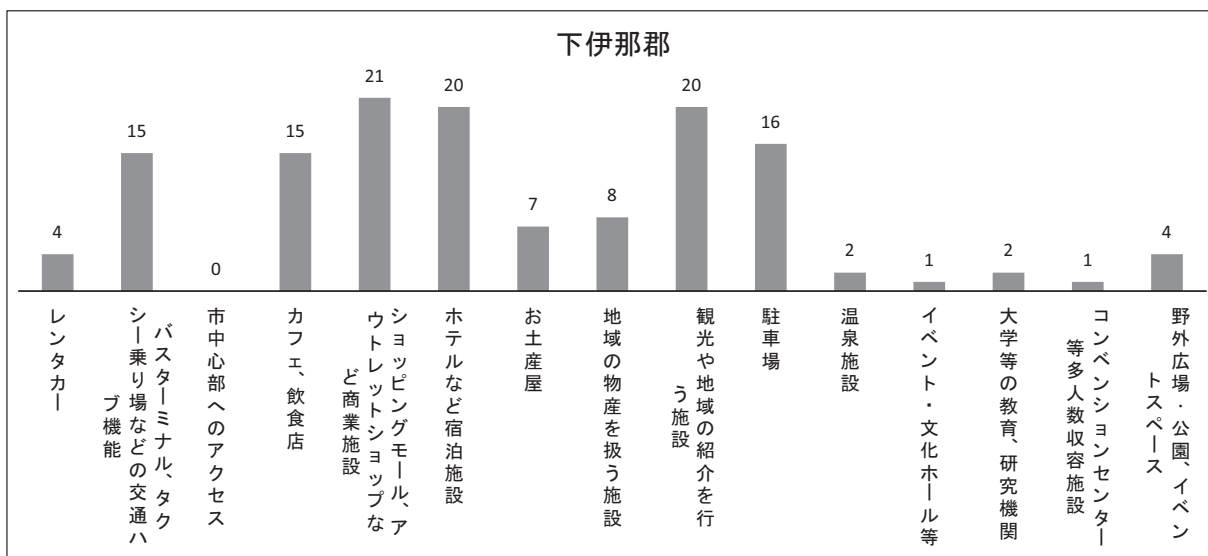
図表Ⅱ-2-24 リニア駅周辺にあって欲しい設備・施設



図表Ⅱ-2-25 リニア駅周辺にあって欲しい設備・施設



図表Ⅱ-2-26 リニア駅周辺にあって欲しい設備・施設



(11) リニア関連道路整備、ルート、実施過程への意識

- ・「リニア関連道路の整備について、そのルートや整備事業の実施過程で望んでいることがありますか」という設問で自由記入により3つ以内で意見・要望について回答いただいた。
- ・回答内容はリニア関連道路にとどまらず、リニア工事および関連事業全般に亘るものとなった。
- ・また、様々な観点での提案など、示唆に富んだ意見をいただいた。(図表Ⅱ-2-27)

図表Ⅱ-2-27 リニア関係道路整備のルート、実施過程で臨むこと（自由記入）

回収330件中、記入201件

年齢	性別	住所	回答①	回答②	回答③
60代	男	飯田市	飯田駅へのアクセス利便性		
20代	女	飯田市	通過点ではなく、人が降りてくれるように		
20代	男	飯田市	騒音の防止		
50代	男	飯田市	近隣からのアクセスが短時間で済むように		
30代	女	飯田市	丘の上地区が発展しやすい環境づくり		
40代	男	飯田市	きちんと精査された計画の立案		
50代	男	飯田市	工事中、完成後の153号線の渋滞緩和	座光寺スマートインターからのアクセス道路をスムーズに駅に直結してほしい	松川インター-大鹿線の道路改良と渋滞緩和
80以上	男	飯田市	アクセス道路に過剰な投資は必要ないとする	北陸新幹線飯山駅の乗降客数をみても、駅周辺事業などは極力費用を抑えるべき	あまり途方もない夢を追わないことが肝要と思う。従来の新幹線とは性格も未来の目的も異なる。要するにリニア飯田駅はローカル空港と考えた上で地域の活性化につなげる方途を考えるべき
60代	男	飯田市	住居を移転せざるを得ない人の移転先について、今のコミュニティを壊さないようまとまった土地を提供してほしい	土地、金融についての相談に応じられる、金融機関の税務、法律相談コーナー	
60代	男	飯田市	自然に配慮した、渋滞のないスムーズな交通網		
40代	男	飯田市	153号線(現道)拡幅より農道拡幅の方が現実的	開業に間に合うよう現実的な話し合いが必要	説明会などでは60代以上の人が多く偏っている。若い世代がものを言える環境が必要
20代	男	飯田市	スマートインター-リニア駅間に観光客にとって魅力的な店、施設を設置してほしい		
80以上	男	飯田市	工事の対象者、対象不動産を一日も早く確定して欲しい	丁寧な説明会を重ねているが決定したら速やかに工事をしてほしい	工事に伴い多数の作業者が流入すると思われるが治安に配慮を
70代	男	飯田市	地元業者、地元資材の利用		
60代	男	飯田市	県道市場桜町線の拡幅	国道153号線の早期拡幅	
60代	男	飯田市	セグウェイ専用道路(現在は道路走行できないため)	市街地から車で5分の大型道路	飯田市街地の再開発を本気でやらないと当初飯田駅隣接を熱望した意味がない
40代	男	飯田市	駅近くのアクセス道路の整備	極力自然を活かした整備を願います	
60代	男	飯田市	住民に対する説明		
60代	男	飯田市	街づくりのビジョンがあってその手段としての道路整備なら良いが、目的が欠落している。社会資本整備で街が活性化する時代は終わった。民間大手資本の餌食にもならないように、この地域が生きていく方向(ビジョン)を見定めることが必要		
60代	男	飯田市	安全な工事	早い完成	

年齢	性別	住所	回答①	回答②	回答③
40代	男	飯田市	駅の南北で機能を分ける。例えば北…元善光寺までの観光物産南…交通の要所としてのアクセス重視(バスターミナルなど)		
40代	男	飯田市	JR飯田線とのアクセス道路の充実	飯田市庁舎、旧市街とのアクセス道路の充実	
60代	男	飯田市	153号線の改良で現状拡幅はあまり良いとは思えない	インター線のルートは設定ルートとしては好ましくない(谷底ルート)	
40代	女	飯田市	少しでも早くスマートインターを開設してもらいたい		
60代	女	飯田市	現在あるルートをできる限り利用する整備計画を		
60代	女	飯田市	街づくりグランドデザインを描いた上での道づくり		
60代	男	飯田市	景観、自然を棄損しないように	道路沿いのリンゴの植栽	接続道路へのアクセス容易性
60代	男	飯田市	スマートインターからリニア駅までの自動車専用道路が必要。伊那方面の利用者が多いと思われる		
40代	男	飯田市	中心市街地に向かう道路の拡張		
40代	男	飯田市	飯田中心街までの道路の拡張、4車線化	153号線の拡幅と一緒に農道のバイパス機能を持たす	
40代	女	飯田市	安全の確保		
60代	男	飯田市	上郷、座光寺へのアクセス道路の充実	三遠南信道、中央高速とのアクセス	
40代	男	飯田市	公共交通の活用	駐車場の整備	
50代	男	飯田市	周辺道路も含めて渋滞や混雑しない道づくり		
50代	男	飯田市	都市整備(道路含め)高齢化社会を見越した環境づくり、インフラ整備		
50代	男	飯田市	リニア駅から三遠南信道へのアクセス道路	153号線のう回路の確保	
50代	男	飯田市	工事用車両の交通配慮(振動、騒音)	整備ルート周辺商業施設拡充	移転先住環境の整備(組合組織再編等)
60代	男	飯田市	生活に支障のないこと		
40代	男	飯田市	自然を極力壊さないようにしてほしい		
50代	男	飯田市	モノレール 中心市街地へのアクセスを充実させる。駅周辺はあくまでも飯田らしい自然があった方が良い。開発はしない		
50代	男	飯田市	仕事が回ってくればありがたい		
50代	男	飯田市	観光用よりも産業用道路の充実。但し、周辺住民にできるだけ配慮する必要はある		
70代	男	飯田市	近辺道路の渋滞緩和	通常歩行者、車両の優先	生活環境の維持
30代	女	飯田市	住民にもお客様にも喜ばれること	先ずは現住民の満足が大切かと思う	
40代	男	飯田市	整備事業を地元で行う		
60代	男	飯田市	丘の上の道路整備	山岳観光道路	
60代	男	飯田市	進捗の見える化		
40代	女	飯田市	管理工事道路の維持、整備		
50代	男	飯田市	二次アクセスの重要性を考えた将来ビジョンのある整備	お金をかけない整備	渋滞、事故といった完成までの住民負担が少ない工事
60代	男	飯田市	リニア駅から麻績の舞台桜まで徒歩で行ける。その間に桜の小道を作ったらどうか	飯田山本ICにハイウェイオアシスを作る	
20代	男	飯田市	道路の拡張		
20代	男	飯田市	広い道路が良い		
50代	男	飯田市	明確な日程を記したスケジュールの公表。関連事業で何一つ明確でないため	残土の運搬に、情報が出ていない。事が始まって慌てるのではないか	
60代	男	飯田市	豊かな自然の保護		
30代	男	飯田市	屋神-山本-市街(リニア駅)-高森-松川の一本道		

年齢	性別	住所	回答①	回答②	回答③
60代	男	飯田市	151号線の天竜峡ICまでも4車線化してほしい	スマートインターからのアクセス道路を延伸して喬木の三遠南信ICまで接続してほしい	南木曾-阿智-飯田市の工事は山麓に工事用道路を新設すべきでは
60代	男	飯田市	R153拡幅に伴う既存営業所への補償	県道市場桜町線拡幅	地元住民の生活道路の確保
40代	女	飯田市	地盤沈下などを防いでほしい		
50代	男	飯田市	自然破壊のないこと	騒音無き工事	
50代	男	飯田市	渋滞の起こらない施策、計画を	地元負担を軽減する施策	
60代	女	飯田市	建設資材となりえる資材があるので使ってほしい		
50代	男	飯田市	リニア駅への道路に渋滞が起こらないような配慮を		
70代	男	飯田市	道路の幅を十分取り通行のしやすい道路	住民歩行者の通りやすい道路	車道、人道の間をとり、込み入った道路にしない
60代	男	飯田市	中央高速や三遠南信道とのアクセス道路が不可欠	スマートインターも良いが、R153とのアクセスが先決	
60代	男	飯田市	伊那、諏訪、松本等から中央道経由の道路整備	駅への進入路は4車線は必要	
80以上	男	飯田市	騒音防止	埃防止	事故防止
60代	男	飯田市	三遠南信道との接続		
60代	男	飯田市	関連道路の渋滞防止		
70代	男	飯田市	R153の改良。 例えば別府-座光寺間の天竜川堤防下にバイパス道路を敷設し渋滞解消す		
40代	女	飯田市	出せる情報はすべて出してほしい		
60代	男	飯田市	対象地域の住民への早期の説明	移転先などの提案	十分な補償
60代	男	飯田市	駅前と通過用のレーンを分かりやすく。また、横断が安全にできるようにしてほしい	スマートインターでは上下線とも利用可能にしてほしい	渋滞緩和や通学の安全のために、国道の改良予定部やスマートインターとのアクセス道路だけでなく、もう一回り広い範囲で整備してほしい
50代	男	飯田市	リニア駅、JR駅、高速バス、市内バスのインフラ全体が連携した利用計画	上郷-座光寺間の渋滞緩和	
70代	男	飯田市	ルートや整備事業の具体的なビッグピクチャーを早く。具体的に県の協力を得て飯田市が作成し、開示することが必要	リニアを迎える前に三遠南信道を一日も早く完成し、リニア時代の土地構想を作り上げることが最も大切	
70代	男	飯田市	リニア工事着手前の完成		
70代	男	飯田市	伊那、駒ヶ根と飯田間の道路を整備長野県駅までの所要時間の短縮	伊那、駒ヶ根、飯田市が協力し合い観光で一連の共同開発をして誘客する。今は各市が単独で動いている気がする	飯田線を利用した観光と三遠南信道路の開通
60代	男	飯田市	空港道路のような乗り降りに便利な一方通行道路		
60代	女	飯田市	バイパス化	大鹿からの工事専用道路	渋滞緩和
40代	男	飯田市	R151や153など幹線道路の再整備と拡幅、短縮化		
40代	男	飯田市	環境保全	安全確保	
60代	男	飯田市	環境への配慮		
70代	男	飯田市	リニア駅周辺は交通の結節で、モノレールなど市街地を結ぶ交通手段が必要		
70代	男	飯田市	渋滞が起きないように	埃、騒音の少ない工事	
70代	男	飯田市	拡幅整備	時又中村線の天竜橋付近が狭く渋滞する。拡幅してほしい	
50代	男	飯田市	特になし		
30代	女	飯田市	大きなショッピングモールが欲しい		
40代	女	飯田市	R153の渋滞緩和		
60代	男	飯田市	リニア駅と市街地の連絡道路の整備。谷川線、白山町から大平街道の白山通りの改良	飯田線をうまく利用すること	田舎で暮らす人を増やすための職場

年齢	性別	住所	回答①	回答②	回答③
60代	女	飯田市	整備事業によって地区の断絶が起こらない配慮を	国道拡幅で周辺の通行が不便にならないように	騒音環境汚染防止
30代	女	飯田市	自然に配慮した事業の実施		
50代	男	飯田市	歩道を広くとって欲しい		
70代	女	飯田市	道路整備を最小限でお願いしたい		
40代	女	飯田市	余計なものをつくらず、必要最小限に	環境やそこに住む人を大切に	
40代	女	飯田市	住民の協力	通過駅にならないような魅力あるまちづくり	
50代	女	飯田市	現状の環境を維持	交通網の整備	
20代	女	飯田市	大阪までの早期開通		
30代	女	飯田市	道案内を判りやすく		
20代	女	飯田市	周辺住民の理解が進む説明		
50代	女	飯田市	判り易い、迷わない道路		
70代	女	飯田市	大勢の人が立ち寄れるように		
30代	女	飯田市	駅のタクシー、レンタカー、バスの充実	道の駅を併設	道路のアップダウンを少なく
50代	女	飯田市	近隣住民にも都合の良い施設を	飯田の街の活性化	
60代	男	飯田市	道路拡幅		
60代	女	飯田市	多方面にアクセスできる道路	工場地帯にスムーズに通じる道路	生活道路の安全確保
40代	女	飯田市	駐車場の充実		
70代	女	飯田市	移転対象者だが静かな環境で余生を送りたい		
60代	女	飯田市	基幹道路の整備	災害対策	
60代	女	飯田市	景観を守る		
40代	女	飯田市	リニア駅と飯田駅とのアクセス道路整備	工事中の渋滞回避の対応	工事に地元業者を優先する
60代	女	飯田市	各観光ポイントに行き易い道路等整備		
40代	女	飯田市	歩車分離の道路整備		
40代	男	飯田市	早期着工		
50代	女	飯田市	どこの駅も似たものになるので飯田らしさを感じられるもの		
40代	女	飯田市	渋滞しない道路の整備		
40代	女	飯田市	交通渋滞をなくして欲しい		
40代	女	飯田市	生活が邪魔されず、安全なこと		
40代	女	飯田市	自然を壊さないように		
40代	女	飯田市	交通の確保	治安の維持	
50代	女	飯田市	地元企業が工事に关わる		
80以上	男	飯田市	工事の安全	地元業者が優先して下請けにできるように	
70代	男	飯田市	アクセス道路の延長	中央道との複数接続	市街地へのアクセス道路の拡張
40代	男	飯田市	地元住民のための施設であるように		
40代	男	飯田市	(整備の上で)現状保存を最優先と考えすぎないこと		
50代	男	飯田市	走行中に伊那谷の景観を楽しめる場所	歩行者自転車道路の拡充	一方通行の環状線(ラウンドアバウト?)
70代	男	飯田市	無料駐車場の拡充		
40代	女	飯田市	渋滞が起きない交通整備		
20代	女	飯田市	リニアについての丁寧な説明	自然等この地域のよさを壊さないよう	
60代	女	阿智村	残土のダイナミックな利用		
70代	無回答	阿智村	残土を利用した工業団地 残土を利用した農地		
20代	女	喬木村	自然を壊さないようにしてほしい		
70代	男	阿南町	151号線の充実、村部から市内への交通の整備		
40代	男	阿南町	道路の整備	渋滞の回避	
60代	男	阿智村	朝晩の渋滞の回避	乗り入れバスの充実	
30代	男	豊丘村	1日でも早く完成してほしい		



年齢	性別	住所	回答①	回答②	回答③
20代	男	喬木村	幹線道路、生活道路ともに渋滞が起こらないように道路整備してほしい	工事用道路を先行して作るなどの工夫で一般道の混雑を避けてほしい	
60代	男	阿南町	下伊那南部からのアクセス道路の整備		
60代	男	阿智村	残土の安全な処理	情報の公開	環境(生活環境、経済環境の保全)
30代	男	阿智村	子供たち、老人の交通安全	道路の清潔さ	
50代	男	松川町	153号線の国直轄	飯島ー飯田間のバイパス完成	松川ICからの災害優先道路の路面輝度確保
40代	男	阿南町	各地域へ向かう道路のスムーズな連結		
60代	男	天龍村	自然環境を破壊しないでほしい	ルートで移転になる工場などが地域外に流出しないでほしい	
60代	男	豊丘村	生活環境を守って欲しい		
20代	男	阿智村	生態系への影響を最小限にする		
30代	女	高森町	日照、景観	安全、粉じん	
50代	男	松川町	渋滞、自然保護		
60代	男	根羽村	根羽〜リニア駅へのアクセス		
30代	男	豊丘村	地域住民の意見を蔑にしないこと	自然を極力壊さないこと	
40代	女	豊丘村	二車線で歩道もしっかり確保してほしい		
30代	男	下條村	極力地元業者に携わって欲しい	時間をかけてでも安全面、耐久性にこだわって欲しい	
60代	男	阿智村	主要道路の渋滞緩和	う回路の確保	
60代	男	喬木村	今ある住宅、企業に迷惑をかけない		
60代	女	松川町	地域住民の生活に支障のないこと		
20代	男	喬木村	駅へのアクセスのみでなく、他地域への道路整備	農耕車への配慮	
80以上	男	豊丘村	残土場が将来にわたって災害がないように	宿泊所、ホテル	
50代	男	阿南町	周辺の道路整備	現行の生活、事業への最小限の保証	
40代	女	高森町	工事に伴う経済効果		
50代	女	阿智村	生活道路と分けて工事車両専用道路を考えてほしい	自然に配慮した整備を	
40代	男	豊丘村	渋滞のしにくい道路整備		
50代	女	豊丘村	工事車両増加による交通渋滞や生活道路への影響を少なくしてほしい		
60代	男	阿智村	工事期間中、事業者と地元住民の定期会合を行い、課題や対策の共有化を図って欲しい	登坂車線増設による渋滞緩和	事業運用に当たり、全国的なモデルケースとなりえるようなルール作り、実施
70代	男	天龍村	R151の確立と道路渋滞	飯田佐久間線の改良と整備	
60代	男	阿智村	残土を宝物と考えて有効利用を望む	残土搬出路はインフラ整備をして現状の旧道の大規模な改良工事に対応すると良い	家屋も廃墟となっているものが多いので補償対応で解体してもらう
70代	男	阿南町	広域のリニア駅へのアクセス道路整備(R153、151)	三遠南信道路へのアクセス	
50代	男	松川町	生活道路への影響を避ける	自然破壊をしない	
50代	男	阿南町	駅周辺の駐車場や公共交通などの十分なスペースと、利便性を考慮した道づくり		
20代	男	高森町	バスレーンの設置(バスの定時性確保、一般車への影響抑制)	歩行者目線の取り入れ。特に駅周辺の歩行者道路や街路樹	
40代	男	喬木村	スマートな流れ	この地域を体感できる環境	地元業者が工事を行う
40代	男	高森町	景観に配慮	過大な設備は不要	
40代	男	豊丘村	リニア駅とうまくつないでほしい		
60代	女	高森町	自然環境の破壊はなるべく最小限にとどめてほしい	景観が悪くならないようにしてほしい	
50代	女	高森町	なるべく自然を壊さない	近隣住民の健康を害しない	
40代	男	阿智村	混雑する区間のバイパス新設	竜東への新しい橋を作って欲しい	
60代	女	高森町	環境破壊なく、自然を残すよう	工事中の安全	
50代	女	豊丘村	万年橋の架け替え		

年齢	性別	住所	回答①	回答②	回答③
30代	女	松川町	アクセスを良くして欲しい		
50代	女	大鹿村	道を広くして欲しい		
20代	男	阿南町	南の市町村からのアクセスを良くして欲しい		
30代	女	阿南町	既存のコミュニティ、集落を分断しないもの	歩車分離、歩行者の安全が確保されること	
60代	女	天龍村	飯田線へのアクセス確保	低料金の駐車場	
40代	男	阿南町	天竜左岸の道路改良		
20代	女	阿南町	住民の生活に影響のない様に		
40代	男	阿南町	道路インフラ整備(上伊那に比べ遅れ)		
60代	女	阿智村	道路のつながりをよく狭い道を広く		
40代	女	高森町	工事中の生活道路等の安全確保		
40代	女	松川町	工事中の工事車両の運転マナーや経路への配慮		
60代	男	阿智村	自然を大切に	道路の拡幅	騒音防止
20代	男	豊橋市	災害に強い作り方		
20代	男	豊橋市	バスなどの公共交通に配慮した整備		
20代	男	諏訪郡	短期間の工事		
20代	女	埼玉県草加市	リニア駅と在来線駅が近くにあって欲しい	早くできてほしい	
20代	男	駒ヶ根市	伊那谷の風土を来訪者に楽しんでもらえる工夫をする		
20代	男	名古屋市	土地を整備するうえで住民とあまりもめないでほしい	予定通り整備を進めてほしい	
20代	男	東京都文京区	地元になじんでいない人が運転することが多くなると思うので道路や車線を増やしてほしい		
20代	女	名古屋市名東区	自然や景観など環境を壊さない		
20代	女	大月市	自然が豊かな場所だから、その良さが生かせるように	温泉などの観光地も多いのでリニアで来るお客様に立ち寄ってもら	バリアフリーや公共福祉の充実
60代	女	名古屋市	なるべく安価に	駐車場を便利に	公共交通網の充実を。商業施設や公共施設をなるべく直線的に結ぶルートがありがたい
20代	男	岡崎市	できる限り低コスト	環境に影響を及ぼさない工事	
20代	女		道路を広く歩道をつくる		
40代	男		道路が渋滞しないよう	環境保全(車排ガス)	

(12) まちづくりに活用すべき飯伊地域の強み、リニアを活かしたまちづくりに関する意見

- ・「その他、まちづくりに活用すべき飯田下伊那の強みや魅力、リニアを活かしたまちづくりに関する意見がありましたら、自由にご記入下さい」という設問。
- ・皆様から様々な内容の記入をいただいた。将来に向けた地域づくり、まちづくりに向けた検討の上で参考になれば幸いである。

図表Ⅱ-2-28

まちづくりに活用すべき飯伊地域の強み、リニアを活かしたまちづくりに関する意見（自由記入）

回収330件中、記入158件

年齢	性別	住所	回答
20代	女	飯田市	飯田の人が県外に出やすくなったではなく、県外の人が飯田にきてくれるようになったと思えるようにすべきだと思う。例えば若い世代というだけでなく、若い世代の何に訴えるのかというようなターゲットをはっきりさせないと、「飯田じゃなくても良い」と思われてしまう
20代	男	飯田市	無理に都会感を出さず、自然を売りに田舎らしさをPRしていく
50代	男	飯田市	金沢駅のように駅前を整備し、玄関口としてのモニュメントなどを設置してほしい
80以上	男	飯田市	中京圏、首都圏、関西圏との時間距離が圧倒的に縮まることが最大の利点。一方、在来新幹線と大差ない運賃が想定され、普通に使えぬ路線となる。豊かな自然や空気が売りだが、それだけで人を惹きつけられるか疑問。他地域との比較の視点が重要で、観光が売りにはならないのではないかと。工場進出や研究開発拠点の誘致が想定されるが、それによって人が流入し持続可能な地域になるための最後のチャンスと考えて戦略を練るべき。リニア実現は嬉しい限り。JR東海が自前でやると決断しなければ画餅に帰したかもしれない。工事完了まで地元の苦痛も多々あるかと思うが寛容の精神で最後まで協力する姿勢であって欲しい
60代	男	飯田市	人口減少の進行に対し、如何に都会や海外からの定住者を増やすかが課題。父親が地域外で働き、母親と子供が安心、安全に生活できるようなスタイルを応援できる地域づくりをしたい
60代	男	飯田市	風光明媚で気候も良い生活環境のとても良い地で、特に老人の生活には適していると思われ、老人が有意義な生活を送れるような施設、住環境を整備して都会からの流入を期待したい
60代	男	飯田市	中長期の飯田市の将来ビジョンやリニア時代の活力ある街づくりの計画と実施を求める
40代	男	飯田市	・航空宇宙産業に多額の予算がついているが、特定の企業の研究費用まで税金で賄う必要があるのか疑問に思う。既存の産業に従事する後継者のために教育施設や振興施設がもっとあっても良いと思う ・里帰り出産すらできない子供を産みにくい地域だと思う。採算だけで考えている現況は少子化の勢いを増しているのでは。出産が面倒だと安心して妊娠できない ・地域のハザードマップで最も危険とされる場所に残土を埋めようとしているが、土石流の発生などへの備えが施工主に甘いように思う。説明会で聞いただととグーグルマップで検索しているだけで現地踏査も、測量もしていない様子。本当に大丈夫か
20代	男	飯田市	温泉や自然は都会にはない特徴にもかかわらず東京経済圏にはほとんどアピールできておらず飯田下伊那の知名度は低い。観光客が来ても行ける場所が少ない。飯田市と下伊那郡がもっと緊密になって観光客を呼び込む工夫をしてほしい。温泉は全国的にもっとアピールが必要だし、自然を活かした子供も大人も楽しめるアトラクション的な施設があっても良いのではないかと
80以上	男	飯田市	飯田地域は地域全体で相互扶助の精神が徹底しておりこれをより大切にしたい。挨拶運動なども大切だし魅力的ではないか。地域独自の空家対策や荒廃農地対策が重要と考える
70代	男	飯田市	実現に向けて運動したい
60代	男	飯田市	飯田市に訪れた人を市内で案内しようとしても適当な場所がない。リニアというチャンスを生かして集客できる施設を作るべき。今はあまりにスケールが小さすぎて飯田の売りが何なのか分からない
60代	男	飯田市	人口流出の観点から ・大型商業施設はなくてよいと思う ・家庭菜園、レンタル一軒家、高齢者住宅、病院といった高齢者のニーズを一貫して実現し、高齢者の望郷の念に応じて都市部から呼び込む ・子育てしやすい地域とすべく住宅環境の整備 ・中山間地らしい環境を活かして研究所や大学施設の誘致・市街地は「林の中の市街地」はどうか。木造漆喰づくりなどをういて飯田らしさを演出したい ・夜の街も重要。焼肉店街、麺類街、井もの街などどうか
40代	男	飯田市	発展も期待するが、それ以上に環境や治安の悪化を危惧します。守るべきものを守ることを最優先にしていきたい。大型店舗や商業施設は必要ないのではないかと。いまある観光や歴史などをそのまま守り、お金を使わず人を呼び込むシステムを考えるべきだと思う
60代	男	飯田市	豊かな自然を活かし企業の研究施設等の誘致を図り、人口増につなげる
70代	男	飯田市	地域の魅力、移住の勧めを強くPRする

年齢	性別	住所	回答
60代	男	飯田市	・澄んだ空気と水、これから増える平坦地を利活用すべき。 ・伝統文化は大事だが生活の糧にはならない。今から新しい文化を作るつもりでリニアを活かしたビジョンを市が主導して作るべき ・日本と世界のモデルとなる産業をブランド化すべきだろう。例えば高齢者の医療、介護のために東京都と連携してホスピタル施設、医学研究所、大学やその人材を輸入・・・小さな世界都市・第1次産業のオリジナル化。近代農業による集約化で飯田特産物を産業化。自活のできる農業モデルを作りブランドとして輸出
40代	男	飯田市	東京から40分、名古屋から20分圏内の、他所と比べて飯田にしかないものを外から見て拾いだし、集約し、PRすることで通過駅でなく観光地として自立することを期待したい
40代	男	飯田市	・県外からの居住者をターゲットとした街づくり、政策を練って欲しい ・東京から40分であることをアピールして企業誘致し雇用につなげてほしい
60代	男	飯田市	リニア駅を中心とした商業地の発展する規模には小さすぎて飯田市の玄関口としては理解できない。もう少しゆとりのある場所を選定すべきだったと思う。遺跡の保護をあれだけ強調するなら、もっと前から重要性を行政は知っておくべきものだろう。全くその関係は理解できない。ただ飯田市の行政区に駅を引っ張り込んだだけで駅の必要性は後でくっつけた形になってしまい、全く残念な結果で、あの場所を理解する人は少ない。
40代	女	飯田市	リニアを活用すればこんなことができるという提案。例えば山梨か名古屋の大学に毎日通えるとか、通勤、就業、商業的な展開、観光などに関する
60代	男	飯田市	東京や名古屋から日帰りが当たり前の地域になるので、コンサートや演劇などを呼べる大ホールを作り魅力ある内容にして誘客する。南アルプスの山々を間近に見れる展望台とそこへの道路の開発
60代	女	飯田市	一番の強みは伝統芸能を始めとする各種祭りやイベント。これをショー化する演出により発信力を高める。例えばリニア駅を降りたら太鼓や笛の根が聞こえ、そこに誘われていけば若者やアーティスト達の工夫された演出による異空間が広がり、食べ物、お土産もたくさんあれば人はお金を落とす。それから本物の祭りを見てみたいと一歩外に踏み出すのでは。こうした施設、ソフトは国際的にも有効ではないか。こういうグランドデザインをを実現するプロジェクトを
60代	男	飯田市	・飯伊地域は広い敷地がないので大学のセミナーハウスといった文化施設の拡充を図った方が良いのでは ・大平などの別荘地化も面白いのでは
40代	女	飯田市	・自然を残しつつ、新しい街にしてほしい ・活気ある街づくりを目指して欲しい
60代	男	飯田市	東京、名古屋そして大阪までの間にある、岐阜、山梨、そして飯田もいかにお客を呼び込むか。飯田市にしかないものや魅力は、人情味、おもてなし、癒し系のもの
40代	男	飯田市	飯田市内の整備だけでなく、飯田市全体を見た道路等の整備をしてほしい
70代	男	飯田市	丘の上の充実
60代	男	飯田市	リニア関連で飯田地域の活性化策として一番有望なのは観光開発。しかし、当地には全国ブランド的な観光地や施設は無きに等しい。全国レベルで他にないような観光地・・・例えば南アルプス、しらびそ、富士見台、園原の花桃への道路アクセスなどの改良をすれば多くの観光客を呼び込めるのでは。昔、一時的に全国ブランドとなった天龍舟下りも様々な工夫で付加価値をつければ復活の可能性もあると思う
70代	男	飯田市	沢山ある観光施設の整備。ただ、その場所に立札があるだけではだめ
50代	男	飯田市	地震以外の災害の少なさを活かして、政府、大企業のバックアップ機能を誘致していく
50代	男	飯田市	関東圏に10万人以上いる郷土出身者の活用 ・人的交流(世代交流) ・人材活用(学識経験、企業経営) 時間と距離が縮まる利点を生かす仕組みがよい
60代	男	飯田市	働く場所の確保
50代	男	飯田市	「わが地元中心」的な意見が多く、また、飯田市と言っても広範囲で話が混在、錯綜しており良く分からない
70代	男	飯田市	飯田下伊那の自然豊かな住みやすさと、昔からの祭りそして無農薬果実、農作物の都会へのPR。そして当地のブランドである「信州そば」や半月位にわたり花が見られる「一本桜の里」PRをしていったらどうか
30代	女	飯田市	飯田下伊那の魅力を活かして地元の活性化につながることを願っている
50代	男	飯田市	秘境というキーワード
60代	男	飯田市	若者の考え方が重要
60代	男	飯田市	人の移動にやさしい街づくり
50代	男	飯田市	あと12年、リニア開通したとき自分たちに何ができるか。今から行動を起こすこと
60代	男	飯田市	・ほかの地区にない伝統、芸能、文化が豊富 ・アマチュアカメラマンの被写体(自然、祭り)が豊富 ・現在のリング並木は周りの照明など造形物に食われており目立たない。再整備してはどうか ・研究所の誘致・若者が働ける職場の確保 ・空家を都会の人に週末貸し付ける ・残土で運動場を作り、都会からの学生などの夏合宿を誘致する
20代	男	飯田市	人の住みやすさを強めるため交通インフラを充実できればと思う
20代	男	飯田市	自然やおいしい食べ物を最大限アピールしてほしい



年齢	性別	住所	回答
60代	女	飯田市	・東京、名古屋などの大都市に近くなるので多くの企業誘致を ・豊かな自然を大切にしたい観光開発を。天竜峡は自然が破壊され過ぎたのでは ・この地域の緑豊かな自然を残し、都会から来た人が「ほっと」するような場所でありたい
50代	男	飯田市	フォーラム講師にも言われた自覚のない良さとは何なのか。同じような田舎は多く、風景の思いつくものがない。宿泊、滞在に結びつく魅力について若い世代との意見交換を積み上げる必要を強く感じる
60代	男	飯田市	今のままが良い
30代	男	飯田市	高齢化社会を見据えて地元の雰囲気と自然豊かな住環境をアピールし、リニア開通で移動時間が短縮される都市部から高齢者を受け入れる、医療、介護産業のまち
60代	男	飯田市	飯田市は、中京圏、三遠南信地域から見ると長野県の玄関。名古屋三河遠州の各地方にもっと街をアピールして飯田を訪ねてもらわなければならない。飯田の技術力、恵まれた生活環境、観光、伝統文化など地道に発信し続けて人を呼び込む努力を続けたい。全国的に見て飯田以上に恵まれた地理的環境はないと思う。住んでいる人たちが自信を持って情報発信を続ければ発展することは間違いないと思う
60代	男	飯田市	軽井沢に対抗できるリゾート地や世界会議が行える会場づくり。東京からは飯田は軽井沢より時間距離が短い
50代	男	飯田市	世界に誇れる自然(3000メートル級の山並みの眺望や溪流とのふれあい)が魅力。南アルプスをぜひ世界遺産に
70代	男	飯田市	住民一丸となってリニアを活かした街づくりを
20代	女	飯田市	・飯田駅付近には何もなさすぎる。すたれすぎている休日に楽しく過ごす場所がない ・飯田下伊那は自然が豊かで過ごしやすい。雪もなく、気候も良いが、いざ自然が素晴らしいところと言われると紹介できる場所がない ・リニア飯田駅付近を発達させるのではなく、田舎の街並み(飯田の強み)を保って行ってほしい
60代	男	飯田市	飯田市の玄関口はリニア駅とすべき。そのために周辺の都市計画を早期に実施すべき。飯田市にできるかどうか疑問もあり県の後押しも必要だと思う
70代	男	飯田市	飯田には何もないと言われているが、古くからの文化が十分あるのでそれを活かせばよいと思う。また駅からの足を確保しないと通り過ぎてしまう。人口が減少してしまえば何のためのリニア駅かわからなくなる。実際何人利用するかわからないが、できる限りの手を打つべきだと思う
60代	男	飯田市	観光客を呼ぶのではなく、地域に定住してくれる人を増やすのが良いと思う。そのためには魅力ある住みやすい場所を目指すべき。飯田は空気や水に恵まれているからリニアで交通の便が良くなれば多くの人に認めてもらえると思う
60代	男	飯田市	飯田下伊那以外の企業が進出して、活気ある、将来発展する、人口増加が見込まれることを希望する
70代	男	飯田市	リニアは陸の孤島から脱却する千載一遇のチャンスだが、長野県駅の場所があまりにも住宅密集地に近すぎる。多くの住宅の移転が必要で人災に近いのでは。迷惑施設にせず、喜んで使ってもらえるように犠牲はなるべく少なくしてほしい。例えばリニアのルート上でも、天竜川とR153の間に設置すれば住宅は少ないし、農地が多く駐車場も取れるのではないかと。そして元善光寺とモノレールで結ぶなどの案はどうか
40代	女	飯田市	もっと本気でリニアばかりでなく飯田市全体の将来像が描けるようになって欲しい。リニアが来た頃に若者も物もなくならないように
60代	男	飯田市	リニア駅周辺からの各地域へのアクセスの充実
60代	男	飯田市	駅で降りた人に飯田の良さを強くアピールしたい。山、水、緑、田園、果樹園等々の風景を印象付け、そこから温泉や川へつながっていくような、チロルのような田舎が心に響く街づくりを願う
70代	男	飯田市	・飯田下伊那の交流人口を増やすことはもちろんだが、自然が豊富にあるということは高齢者が住みやすいということなのだから、高齢者を中心に健康長寿を求めて当地区に移住してもらうことを計画的に推進すべき ・飯田のシンボルは風越山。健康、観光、信仰(三光)の山として年間100万人以上の登山者がある魅力ある風越山をつくるべき。そのため、リフト、ケーブルカーなどの設置を提案する
70代	男	飯田市	駅が通過点にならないような魅力ある飯田市にしないといけないと思う。また、滞在人口の増加が見込める観光を作り上げて広域的に広げなければ発展はない
70代	男	飯田市	通過点にならないよう自然を活かした観光、文化、健康等を組み入れた特徴ある観光を立ち上げる
70代	男	飯田市	・天竜川流域の辰野から天龍村まで広域的に地域の発展をするにはどうしたらよいか検討し、実施することが必要。観光面では伊那、駒ヶ根、飯田市を回るルートをつくってはどうか。また、飯田線を秘境の路線として売り込む一方、観光列車の運行等を考えてはどうか。また、天竜川沿いの道路を整備して長野県駅までの所要時間を短縮することも必要ではないか ・企業の誘致をして若者が働く場所を作り定住させる ・国や県の公共機関や施設を飯田につくる(伊那市が多い気がする)
60代	男	飯田市	環境を破壊しない街づくりと歓声が育つ場所。例えばシリコンバレーのような、デザインバレー的な街にしてほしい
60代	女	飯田市	通過地点で終わるのではなく、観光に結びつきたい他地方の魅力を発掘宣伝して、上高地、美ヶ原、霧ヶ峰に行くための足掛かり(特に西からの観光客に対して)
40代	男	飯田市	・果樹やお土産についてブランド化するものを一本に絞った方が良い。但し、若者が食べないので市田柿ではだめ ・眺望のよいエリアに公園と食事処を並べて観光客を誘客できると良い
40代	男	飯田市	リニア駅を発着する観光周遊ツアー(はとバスツアー)のようなサービスの提供
60代	男	飯田市	飯伊のアピールポイントは「自然・温泉・農業・林業」と思っている。特に農林業を今一度見直し緑豊かな地域を作る
70代	男	飯田市	広域連合などで地形を生かした施設を全体で考えることが必要・地域にある自然等をそのまま生かすことを考えることが必要
70代	男	飯田市	各市町村が別々に同じようなことをやっても魅力はまとまらない
50代	男	飯田市	人口減少、少子高齢化社会にあって地域コミュニティの希薄化が心配
40代	女	飯田市	都会の大学に進学する若者が帰ってきて就職を考えたときに、技術を活かせる職場、環境の選択ができる地元であって欲しい

年齢	性別	住所	回答
40代	女	飯田市	B級グルメが何かあればよい
40代	女	飯田市	駅から元善光寺の道路整備、お土産・飲食など関連施設をつくり元善光寺を盛り上げる
20代	女	飯田市	飯田へ来る人が何も無いと思われないよう活性化が必要
40代	女	飯田市	温泉、そばをメインにしていく
30代	女	飯田市	新たな特産、土産の開発必要
20代	女	飯田市	・工事車両の騒音等への懸念など住民の理解が進んでいない ・リニアのリスク(電磁波や騒音)を解決していくべき ・公民館・地域活動など住民自ら取り組むのが飯田下伊那の強み。近所付き合い、助け合いなどの良さがある
50代	女	飯田市	・自然を活かした名所づくり ・都会の人が素通りしない地域づくり
30代	女	飯田市	・リニア駅と道の駅を併設して、どちらの利用者も利用できるようにする ・若者向けのショッピングモールをつくる ・人が訪れ、こちらから出て行かないような魅力的な施設を
20代	女	飯田市	当地の農産物は全て美味しい
50代	女	飯田市	・丘の上にいるいろいろつくっても不便なだけ ・住みやすいところというイメージで人が住んでくれる街に ・1時間足らずで都会にいけるので、当地には都会的なものは望まれないと思う
50代	女	飯田市	人形劇を全国に広められるように
60代	女	飯田市	・優良企業を誘致し働く場所の確保 ・若い人のために働く場所の確保を ・若者に魅力あるまちづくりと共に老後の安心な生活を
70代	女	飯田市	リニアの乗客が下車してもらう魅力的なまちづくりを、自然を生かすこと
60代	女	飯田市	今までの飯田下伊那の良さを生かした地域づくり 若者の定着、人口増が一番の課題
40代	女	飯田市	・リニア駅予定地としての飯田市を盛り上げたい ・丘の上の活性化 ・駅周辺に若者が集まる施設を
40代	女	飯田市	・都会的なものを追わず、自然豊かなところを活かす ・IT企業等の誘致
50代	女	飯田市	飯田らしさを失って都会のようにならないようにして欲しい
40代	女	飯田市	四季の変化、豊富な食べ物、お祭りなどPRしたくさんの人にリニアで来て欲しい
40代	女	飯田市	自然を意識しすぎて小胆になっている
40代	女	飯田市	山や川を生かしたまちづくりを
50代	女	飯田市	観光産業の振興が必要
40代	男	飯田市	平安時代の頃からの交通要所としての地力を生かした住民やターナーUターンの誘致
40代	男	飯田市	自然を活用した企業の研究施設、大学の誘致
40代	男	飯田市	強いリーダーシップがなければ、先進的なまちづくりはできない。(全部の考え方を統一することは不可能)
50代	男	飯田市	環境に配慮する視点を。リニアで来て、地域内を水素自動車で移動し、リニアで帰る
70代	男	飯田市	駅周辺をコンパクトにし過ぎないよう、ある程度の規模は必要
70代	無回答	阿智村	各自の品性、労働、サービス等のレベルアップ
70代	男	阿南町	関東と中京の中間という地の利を生かした人材の育成と文化、産業の育成
60代	男	阿智村	観光の拠点となるので、リニア飯田駅～昼神宿泊～リニア坂本駅のような広域的な観光への取り組みはどうか。例えばこのルートで路線バスを運行するなどの取り組みがあつてよい
30代	男	豊丘村	土地が安く、余っている
60代	男	高森町	首都圏とのアクセスが良くなるのだから研究機関、特に医療関係の招致に注力すべき。学問するのに最高によい場所であることを積極的にアピールし教育施設特に大学の誘致すべき
20代	男	喬木村	東京、名古屋ともに1時間かからないので、両都市のベッドタウンのようにすればよいと思う
60代	男	阿智村	・教育、医療、文化、食生活など安全で近代的な生活を営める地域としてのアイデンティティーの確立と発信により、定住人口の増加を図りたい ・日本の原風景をとどめる自然豊かな地域と文化を世界に発信するとともに、空港へのアクセスを充実してインバウンドを呼び込みたい
60代	男	根羽村	当地域、リニアは一切無関係
30代	男	阿智村	自然環境の良いところを活かした街づくり
40代	男	阿南町	強み・・・自然 魅力・・・独特な文化と生活、風習、祭り
40代	男	阿南町	お祭りやフルーツ、当地の食文化や自然を活かした施設、観光産業を活かしていくのが良いと思う
60代	男	豊丘村	気候が温暖で観光資源が乏しい飯田下伊那地域は、リニア開業で首都圏中京圏を取り込んで施設を中心とする老人介護のまちづくりを推進することを強く望む
20代	男	阿智村	自然や田舎の風景を維持し、まち全体で保養地的な雰囲気を作っていく

年齢	性別	住所	回答
30代	女	高森町	駅はできるが通過点に過ぎない、とならないようにしていく必要があると思う
50代	男	松川町	関東～中京地域、県外からの観光客誘致のさらなる活動を希望
40代	男	高森町	新しい人たち、リピートする人たちのための借家を提供し、今まで以上に農地などを貸し出してはどうか
60代	男	根羽村	・正直リニアの相乗効果は望めない ・R153の中京圏からのアクセスを改良してほしい
30代	男	豊丘村	・自然の豊かな地域なので、なるべく自然を壊さないでほしい ・地域の産業が活性化されるような仕組みを作って欲しい
50代	男	高森町	・企業誘致を早期に ・個人住宅地のあっせん
30代	男	下條村	・屋神、舟下り、イチゴ狩り等々現在のアピールポイントは残しつつテーマパーク、水族館、ショッピングタワーなどを作って欲しい ・そば打ち稲刈り農作業などの各種体験学習はどうか
20代	男	喬木村	リニア開通で飯田下伊那は首都圏への通勤圏となりえる。都内のような便利さも生活するうえで欠かせないだろうが、豊かな自然、風土を活かした生活スタイルも現代社会で働く人には必要で心身をより健康にする効果もあるのでは。更に住みよくという考え方もあるだろうが、今あるものを活かしより強みに変えていくことも大切だと思う
80以上	男	豊丘村	リニア開通より三遠南信開通に合わせた街づくりが先決。道の駅、温泉などの充実が必要。地場の六次産業の充実も重要
50代	男	阿南町	観光ベースの整備
50代	女	阿智村	下伊那は自然に恵まれ、山、川が美しい住みよい場所なのでそれを活かした自然のテーマパークを街に取り入れたらよいと思う
60代	男	阿智村	・飯伊を単位としたリニアを中心とした交通網の整備・飯伊で四季を通した観光地づくり(年間通して集客対策) ・飯伊での街づくりの青写真の見える化
70代	男	天龍村	下車後、各市町村が行っている事業をアピールする。飯田市のみでは魅力がない。特色ある各町村の食、住、観光の魅力を地元はもちろん、県全体で行う
50代	女	阿南町	当地域は豊かな自然と温かい人間性があると思う。しかし、駅ができてでも下車し行きたいところ、食べてみたいものなど魅力になるものがないと素通りになるのではないかと。例えば駅周辺にクラインガルテンのような自然を活かした観光施設があればどうか
60代	男	阿智村	長野駅が通過駅でなく、また、大都市への通勤通学が可能となるが、集客人口増となるよう魅力ある観光地となるよう期待する
70代	男	阿南町	・丘の上商店街の街並み。菓子やそばをメインにしたグルメ街などはどうか ・豊川駅舎を参考にJR飯田駅を橋上駅舎にして移動の便を確保してはどうか
50代	男	松川町	駅を降りてもそこからの交通手段がなければ、マイカーを利用して他の所へ寄りながら来るのが一般的で、リニアを利用した観光はあまり期待できないのではないかと。南アルプスの登山者はリニアは利用しない。荷物があるのでマイカーで来る
50代	男	阿南町	日帰り農業などが可能なエリアづくり。クラインガルテンなどの充実
20代	男	高森町	何かに取り組もうとする人に対して、適時的確なアドバイスができる体制づくりが必要だと思う。新しいことをやろうとする人に資金だけでなく、資本を提供することこそが地方を活性化しうる方策だと思う
40代	男	喬木村	各地域の人形劇、歌舞伎、大自然を含めた景観、文化歴史、自然を楽しんでもらう
40代	男	豊丘村	・駅付近の、住宅を含む再開発を大規模にやるべきだと思う。中途半端な駅前開発は将来に禍根を残す ・条件の悪い飯田線と無理にリンクさせず、バス交通の充実を図る ・今から研究開発機能の誘致に力を入れる
50代	女	高森町	・都会の人が立ち寄りやすい施設・自然豊かな環境を活かして総合的な観光地に組み立てる ・ペット社会の今、ペットと楽しめる広い場所の提供。ペットの墓地も良いかもしれない
30代	女	豊丘村	都市化しないよう自然や田舎暮らしを楽しめるようなまちづくりを
50代	女	大鹿村	歌舞伎で人を呼ぶ
60代	女	天龍村	・信州人のおもてなしを活かす ・自然に癒される場所と時間を提供することが大事 ・二地域居住で週末は飯田という可能性大 ・大学生が飯田から通学できる
40代	男	阿南町	・雇用の場の確保、若い人が利便性を感じられるまちづくりが重要 ・地域の特色活かし、オンリーワンを育てる必要がある
60代	男	阿智村	・工事に投入される資金をいかに有効に使うか ・残土を飯田下伊那で有効活用する
50代	女	下條村	・定住人口増のための優遇策などの施策 ・若者の雇用の場を増やす
50代	女	下條村	・来訪する人が増えることの治安対策 ・来訪者に対応した新しい施設 ・リニア駅だけでなく地域の隅々まで潤うようにする
40代	女	高森町	四季折々いろいろな作物がつくられて食べられる贅沢な地域である
40代	女	豊丘村	共同墓地の整備により利用者増と都会からの来訪増を図る
40代	女	松川町	駅で降車した人のための交通網の整備
20代	男	豊橋市	車の勢いが速いと思われるので信号などの工夫をしてほしい



年齢	性別	住所	回答
20代	男	豊橋市	自然の豊かな飯田市の魅力をもっと知ってもらうため、例えば木のみを利用した学校や道路、建物など木材に着目してはどうか
20代	男	豊橋市	無理に都市を目指すのではなく、豊かな自然を生かした方が良い。リニアは観光等の交流人口を増やすだろうが、観光客に自然、住みやすさを存分に知ってもらえる街づくりが理想だと思う
20代	男	豊橋市	リニア開通で観光客が見込める。自然を活かした観光施設の充実や交通機関の整備が必要
20代	男	諏訪郡	リニアが来れば多くの人が飯田下伊那に来ることができる。飯田下伊那の良さをアピールしていく必要がある
20代	男	駒ヶ根市	・自分達が良いと思わなければ外部の人にも勧められない。地域の人も自信を持ってお勧めできる物は何かを考え、目標が定まればそれぞれのコンテンツをリニアに向けて育ていく等の工夫が必要ではないか ・この地域の資源は、個々ではまだ弱い。それらをどう結び付けるかが重要では
20代	男	松本市	東京、名古屋とのアクセスの良さから観光客の増加が予想されるので、大型ショッピングセンターやスーパーの建設が必要だと思う
20代	男	名古屋市	自然を商業に生かすことができたら良いと思う。リニア駅周辺に人が集まることを大事にしていきたい
20代	男	東京都文京区	食べ物や地場の農産物は県外者からはとても魅力的。「食」を押ししていくことが街づくりに良いのでは
20代	女	名古屋市長久区	おいしい食べ物が多いので、駅内におけばリニアを利用する人が立ち寄った時に興味を持ち、立ち寄ってくれる人が増えるのではないかと。リンゴ狩りやそば打ち体験なども強みなので駅付近にそれらの案内所を設けるのも良いと思う
20代	女	大月市	飯田下伊那の自然や環境はとても住みやすいと思う。その良さを活かしつつリニアを大切に、より多くの人に飯田下伊那を知ってもらえたらと思う
50代	男	松本市	駅周辺のみならず広域の観光を視野に入れ、ルートづくりやタイアップ等を行った方が良いと思う。そのためのインフラ、交通システムが必要と思う
60代	女	名古屋市長久区	田舎ゆえの純朴な面が残っていると思う。また、昔からの行事、祭り、冠婚葬祭などの習慣にも美しいものがあると思う。広範囲の交流の進展でこうしたものが失われるのもやむを得ないこととはいえ、良い面を発信し、また他所の良い面も取り入れたい。夏の涼しさは売り物だと思う
20代	男	岡崎市	・駅舎のデザインは自然豊かで果樹王国の飯田らしさをフルに生かしたデザインがいいと思う ・リニアと飯田線、観光施設を結ぶアクセスのしやすい公共交通網の構築

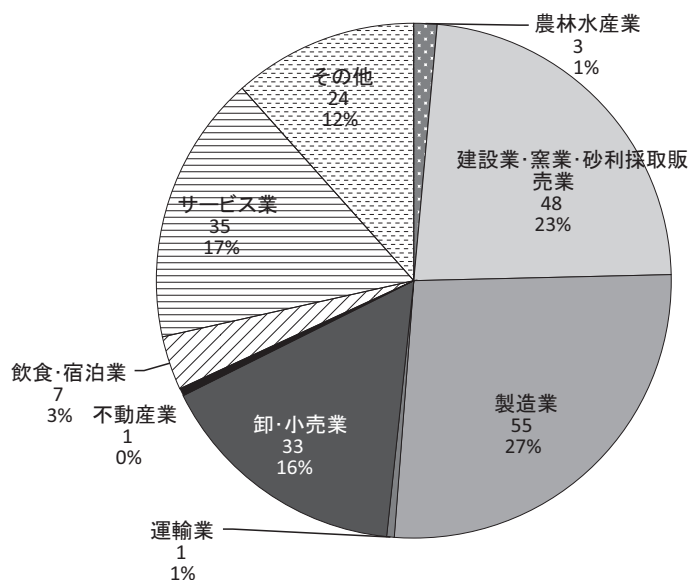
### 3. アンケート調査の結果 ～事業所調査～

事業所の経営者など事業に携わる関係者の方々には、アンケート調査票後半の事業所関連の設問にも記入を依頼した。330件寄せられた回答のうち207件の方が<事業所編>に回答いただいている。

#### (1) 回答者事業所の主要業種

- ・回答いただいた事業所の業種比率は、現状の飯田下伊那地域の業種構成比率とほぼ同様となっている。  
(図表Ⅱ-3-1)

図表Ⅱ-3-1 回答者事業所の主要業種



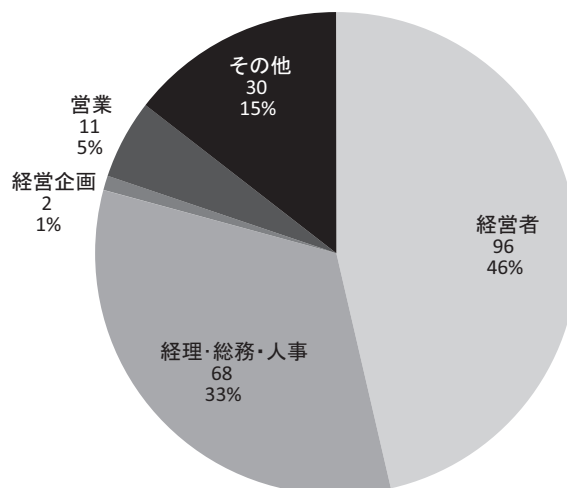
#### (2) 回答者の役職

本アンケート調査は、調査票を当金庫経営相談所発行の調査誌「飯伊地区産業経済動向」調査先(147先)、および同誌の読者(約1,000先)に送付して協力を依頼した。また、営業店で取引先に対して直接依頼した。

更に、当金庫主催の「リニアを見据えた観光フォーラム」参加者へ調査票を配布してお願いした。

その結果、「経営者」が96人(46%)、と約半数。「経理、総務、人事」が68人(33%)と、経営者および事業所幹部社員の方で4分の3以上を占めている。

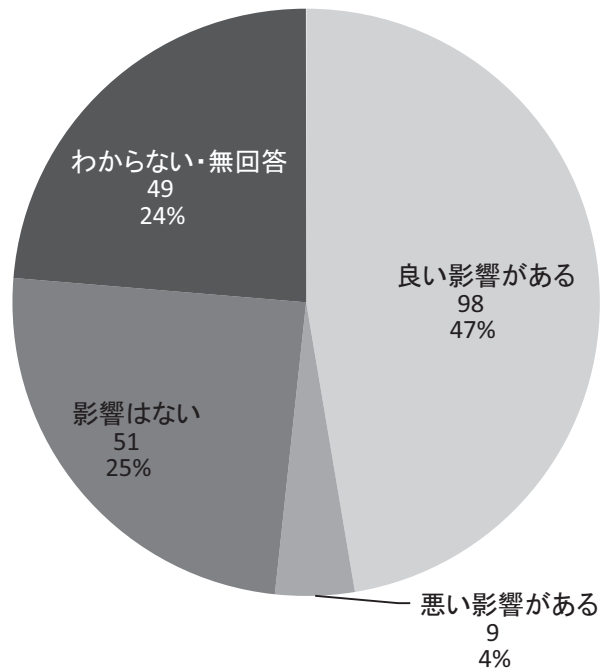
図表Ⅱ-3-2 回答者の役職



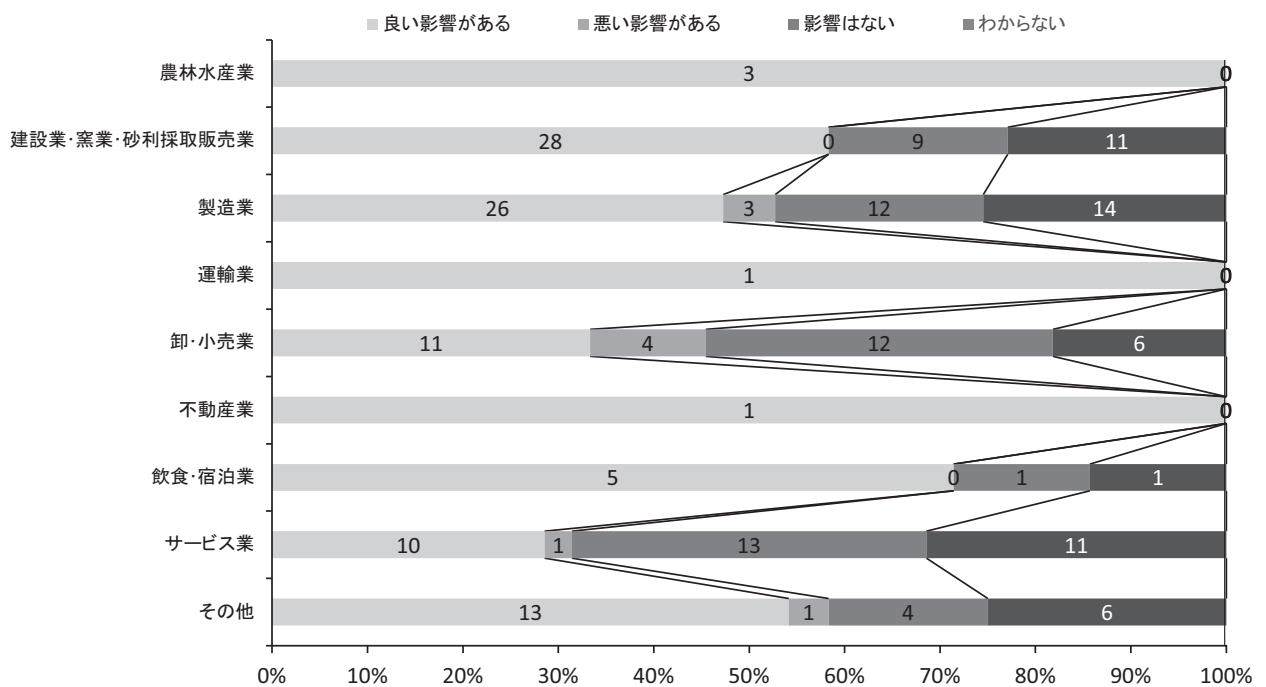
### (3) リニア開通の影響度

- ・「リニア開通の影響は」との設問については、「良い影響がある」の回答が約半数の98人（47%）、「悪い影響がある」は9人（4%）にとどまった。（図表Ⅱ-3-3）
- ・業種別でみると、「悪い影響がある」を回答したのは製造業、卸小売業に多かった。
- ・「わからない」および無回答は約1/4あり、影響を見極めきれない方々が多いといえる。

図表Ⅱ-3-3 リニア開通の影響は



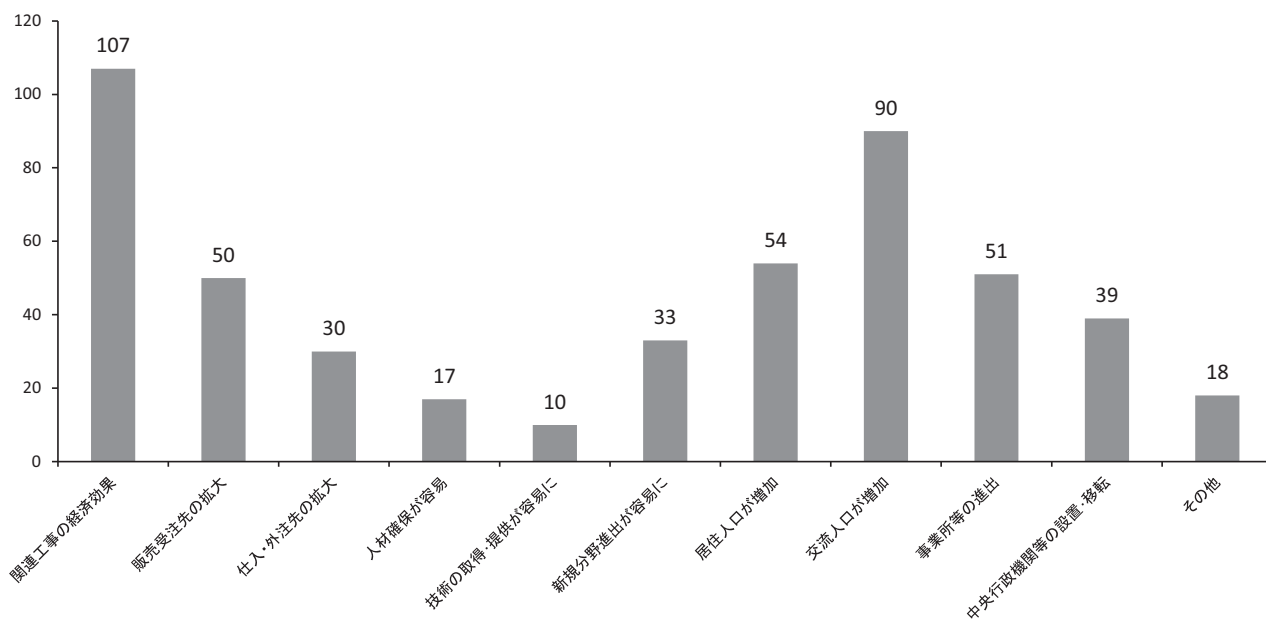
図表Ⅱ-3-4 リニア開通の影響は（業種別）



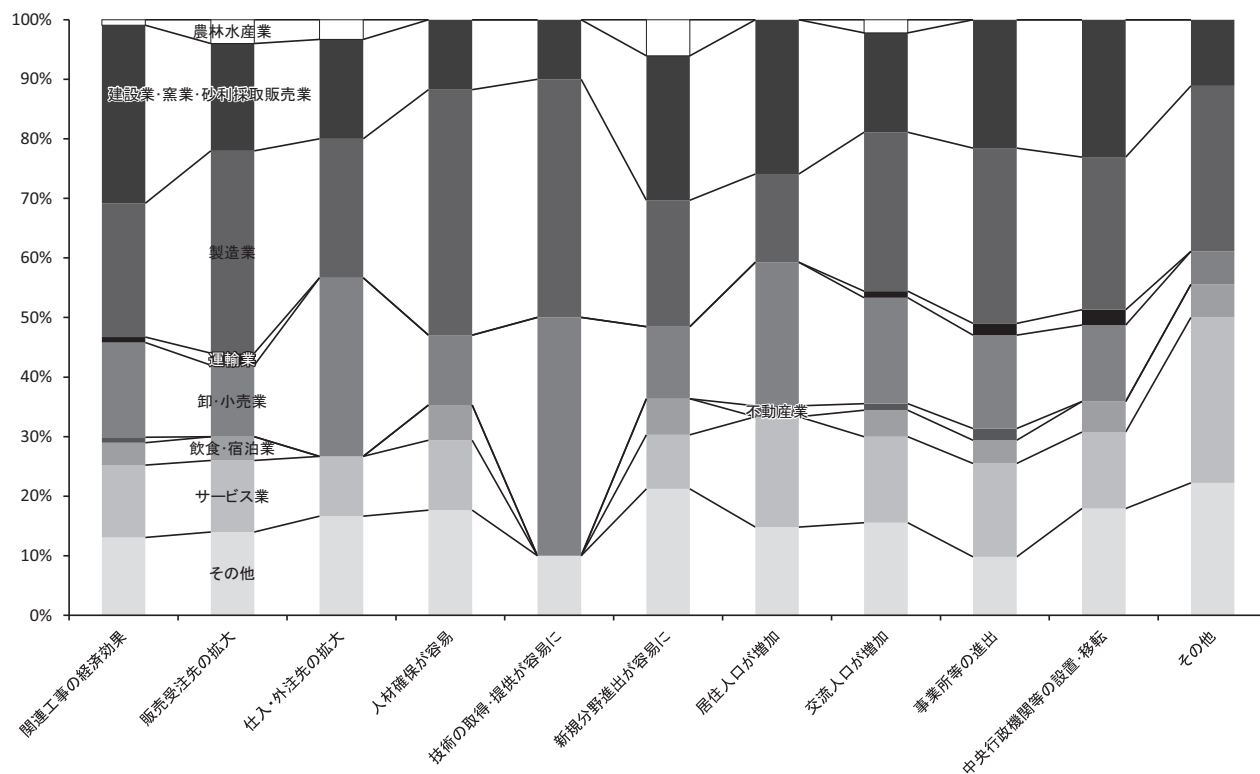
#### (4) リニア開業の良い影響の認識

- ・「リニア開業はどのような良い影響がありますか」とリニア開業の良い影響について尋ねた。(図表Ⅱ-3-5)
- ・「関連工事の経済効果」(107) がいちばん多く、「交流人口が増加」(90) が続いた。「居住人口が増加」(54)、「事業所等の進出」(51)、「販売受注先の拡大」(50) がこれに続いて多かった。

図表Ⅱ-3-5 リニア開業はどのような良い影響がありますか



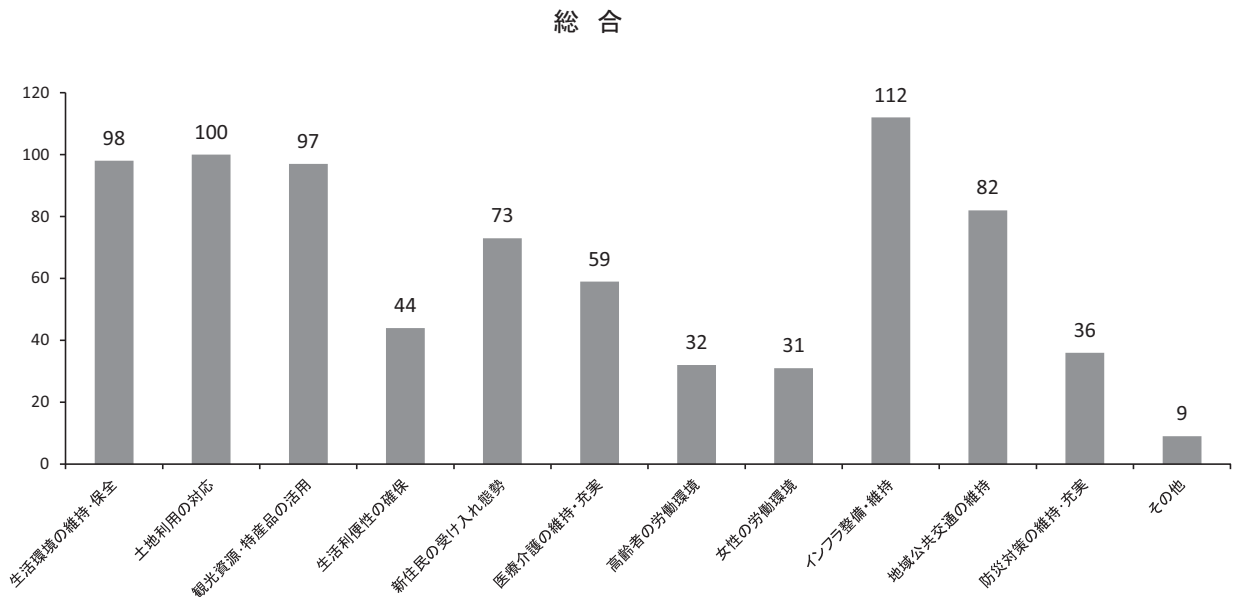
図表Ⅱ-3-6 リニア開業はどのような良い影響がありますか (業種別)



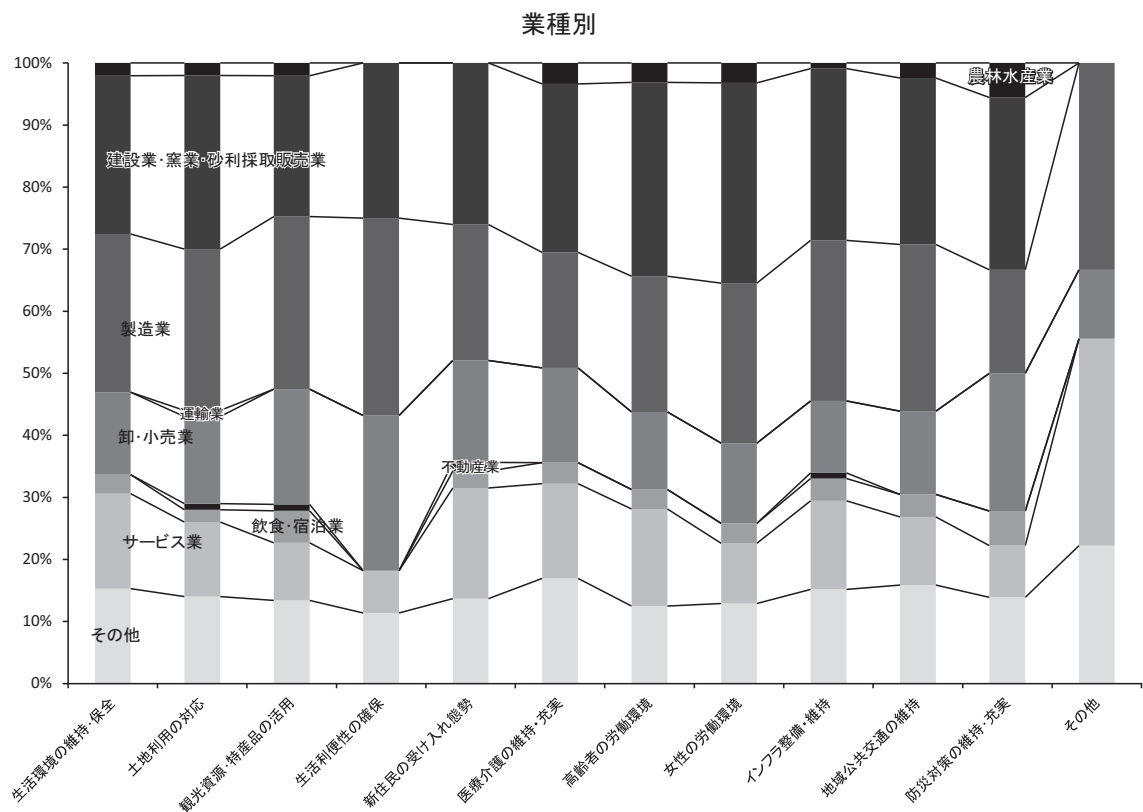
### (5) リニア開業を見据えた当地域の課題

- ・リニア開業を見据えた当地域の課題では、「インフラの整備・維持」(112)が最も多く、「土地利用の対応」(100)、「生活環境の維持・保全」(98)、「観光資源の特産品の活用」(97)がほぼ同数でこれに続いている。
- ・リニア開業の効果を高めること(「インフラ整備」「観光資源・特産品」とリニアのマイナス面への対応(「生活環境の維持・保全」「土地利用の対応」)の両面が意識されているとみることができる。

図表Ⅱ-3-7 リニア開業を見据えた当地域の課題は



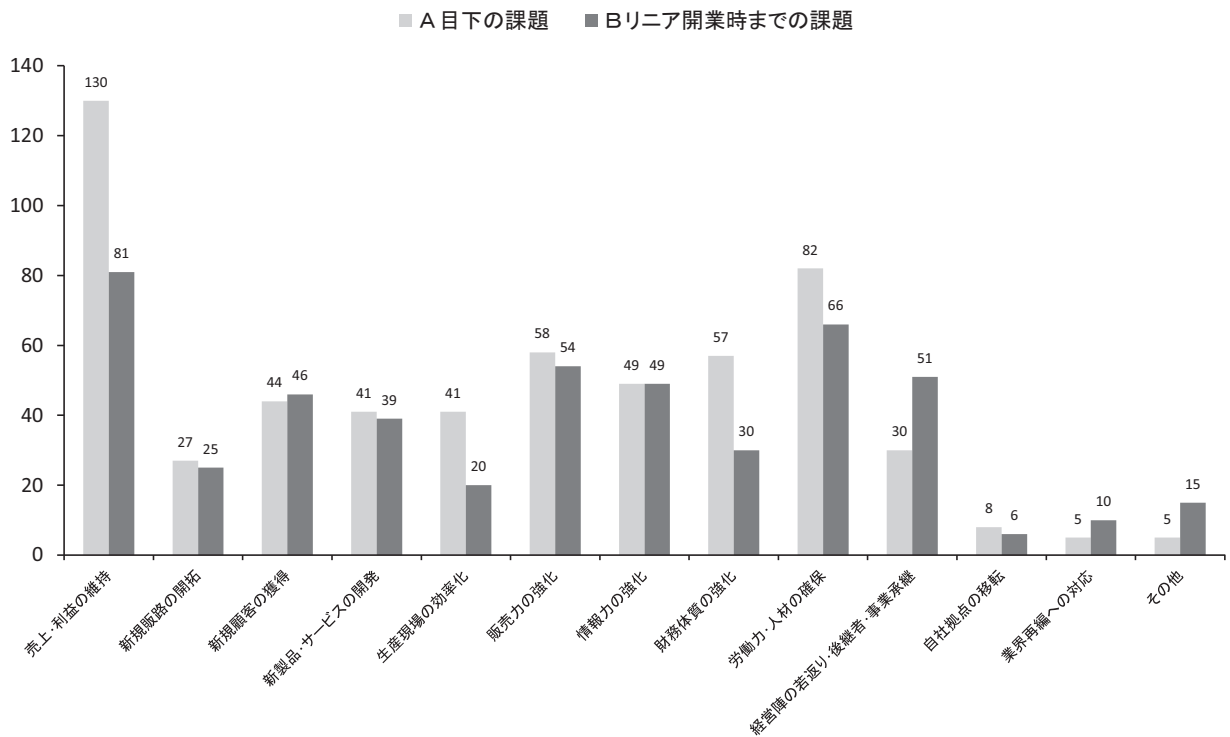
図表Ⅱ-3-8 リニア開業を見据えた当地域の課題は



## (6) 貴事業所の課題は

- ・各事業所の課題を、「目下の課題」と「リニア開通までの課題」に分けて尋ねた。(総合、図表Ⅱ-3-9)
- ・「目下の課題」では「売上、利益の維持」(130)、「労働力・人材の確保」(82)の順となっている。
- ・「リニア開通までの課題」は、各項目の回答状況は「目下の課題」とほぼ同傾向になっているが、「生産現場の効率化」「財務体質の強化」は減っており、逆に「経営者の若返り、後継者・事業承継」が「目下の課題」に比べ増加しているのが判る。

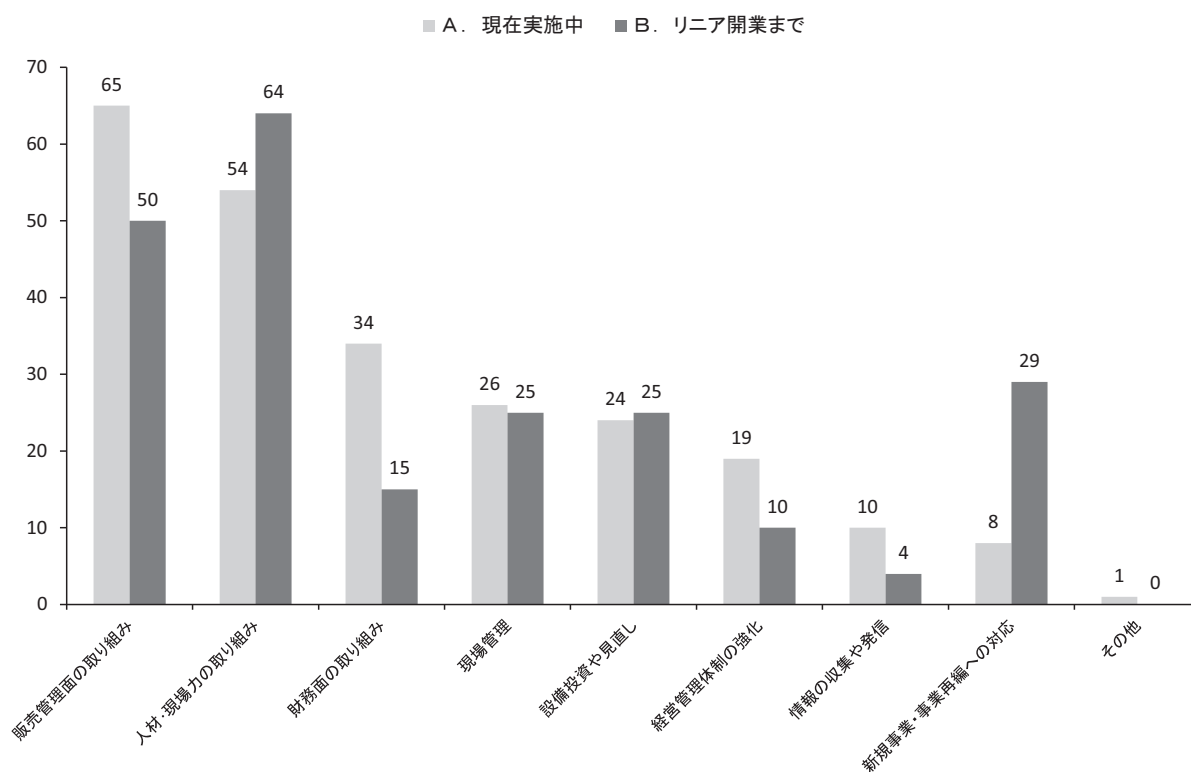
図表Ⅱ-3-9 貴事業所の課題は



## (7) 貴事業所の具体的取り組みで重要なもの

- ・前問を受けて、各事業所の重要と考える取り組み事項を「A. 現在取り組んでいるもの」と「B. リニア開業までに取り組むもの」に分けて尋ねた。(図表Ⅱ-3-10)
- ・自由記入としたので様々な回答があったため、性質別に分類して集計した。
- ・「A. 現在取り組んでいるもの」では、「売上の強化」、「販売体制の強化」、「取扱い製品・商品の検討」といった販売管理面の項目がトップ、2番目が「人材確保」「人材の能力アップ」といった人事管理。3番目が「収益アップ・確保」といった財務面。
- ・以下、「生産性の向上」「効率アップ」など現場管理、「新設備の導入」「設備の能力アップ」など設備面、「組織機能の明確化」など経営管理体制、「新規事業の導入」など新規事業・事業再編への対応と続く。
- ・「B. リニア開業までに取り組むもの」になると、人事管理がトップとなり、販売管理が続くが、3位には新規事業・事業再編への対応が入った。
- ・リニア時代を見据えると、その時代に対応できる人材の確保や、事業転換や事業再編への対応が重要になるとの認識を窺わせるものとなった。

図表Ⅱ-3-10 貴事業所の具体的取り組みで重要なもの

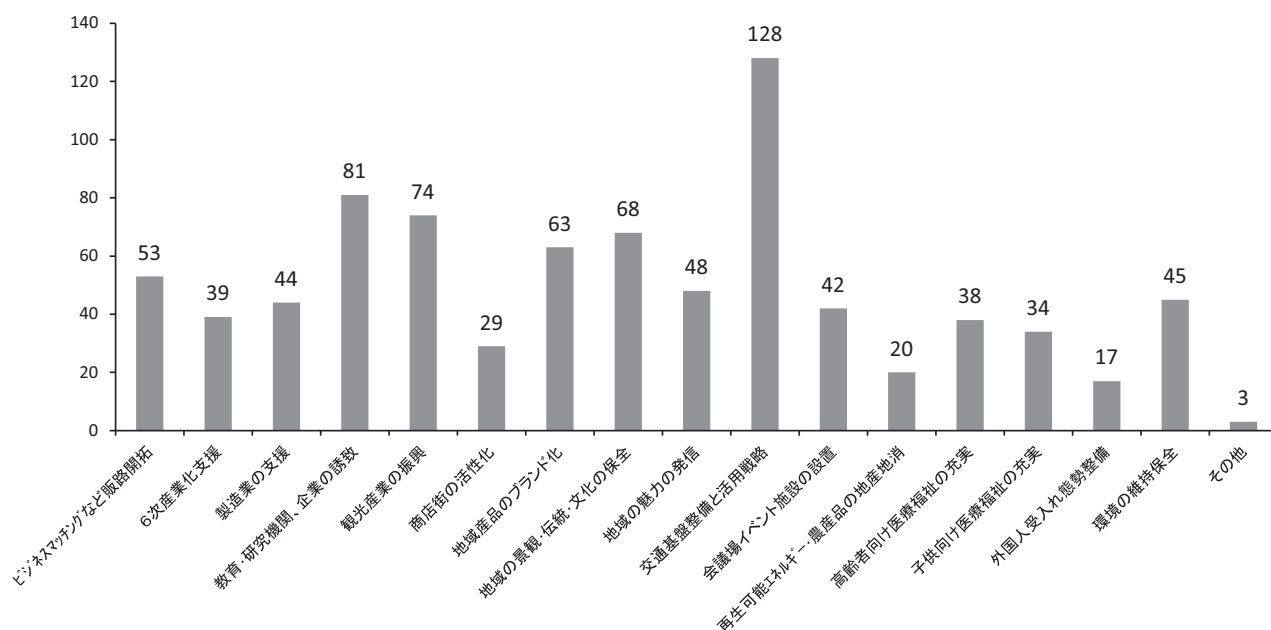




(8) リニア開通を見据えて地域で取り組むべきことは

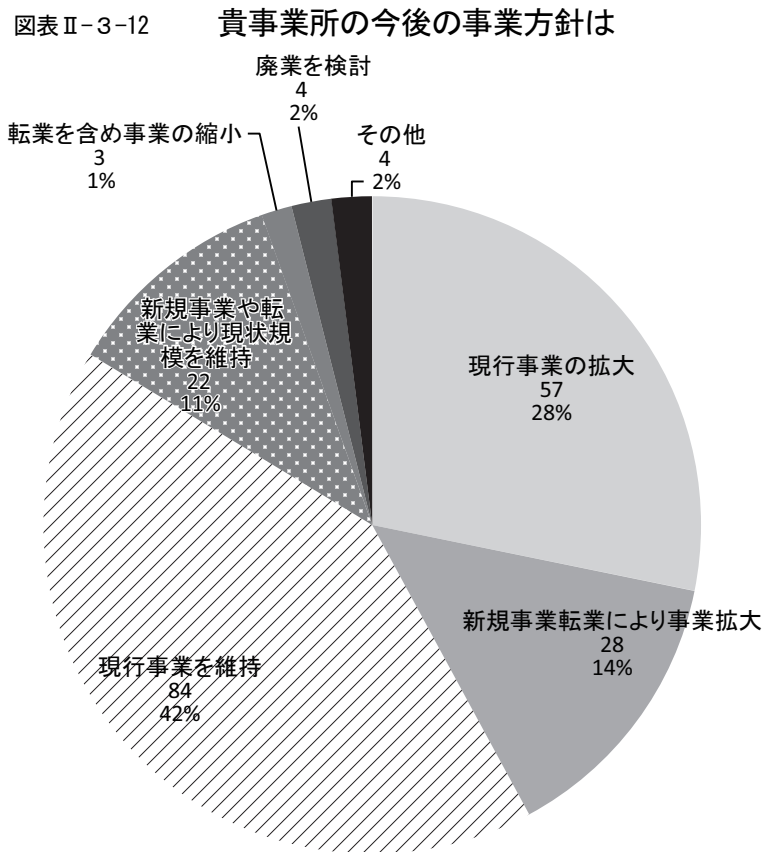
- ・リニアを見据え地域で取り組むべきことでは（図表Ⅱ-3-11）、まずは「交通基盤整備と活用戦略」（128）ということであった。これに「教育研究機関、企業の誘致」（81）、「観光産業の振興」（74）が続く。
- ・また、「地域の景観・伝統・文化の保全」（68）、「地域製品のブランド化」（63）も多かった。

図表Ⅱ-3-11 リニア開通を見据えて地域で取り組むべきことは



(9) 貴事業所の今後の事業方針は

- ・ 事業所の今後の事業方針は、「維持」が約5割。「事業の拡大」が約4割であった。「事業の転業、縮小」「廃業」は合わせて3%であった。
- ・ 「事業の維持」「拡大」の中で新規事業や転業を併せて検討している向きが相当割合みられた。



(10) リニア開業を見据えた御社の取り組み、地域全体で取り組むべきこと

図表Ⅱ-3-13 リニア開業を見据えた御社の取り組み、地域全体で取り組むべきことなど

(自由記入)

住所	業種	内容
飯田市	建設業、窯業、砂利採取販売業	道路整備により当社店舗の移転があるが、周りの環境がどのように変化するか見通しが立たない
飯田市	製造業	地域の活性化と連携の強化
飯田市	建設業、窯業、砂利採取販売業	リニアで飯田に来た人が何を求め、望んで来たのか聞き取る。また、何が叶えられ、何が不足していたのか調べることができるシステムづくり
阿智村	飲食・宿泊業	他の施設との差別化 新しいプランの制作
飯田市	建設業、窯業、砂利採取販売業	リニアは長野県南部にとって一つの光明。少ないチャンスを将来に生かせるように協力したい
飯田市	建設業、窯業、砂利採取販売業	優秀でまじめな地域の人材確保、教育が第一と考える。地域の健全な発展のため既存の文化や産業をブラッシュアップして弱い部分を補い、良い部分をさらに伸ばす施策を望む。当地は高等教育機関がなく学校と企業の就職連携もないので都市部に若者が流出する。この悲しい現状を断ち切らないと若者が少ない破たんした地域になってしまう。地域の宝である子供が沢山生まれ、安心して育てられる社会にしてほしい。老人の孤独死もあってはならない。老人になってピンコロできる元気な老人が増えるシステムも必要
飯田市	サービス業	インフラ整備、地域の魅力づくりのために行政が積極的に動き出す気配が弱い
飯田市	建設業、窯業、砂利採取販売業	リニア開業に向け業者の参入がすでに見られ、今後激しくなるとされる。地元の企業を守るため策を講じなくてはならない。一方、企業の体質も強化し変化に対応していきたい
飯田市	運輸業	旅客運輸業にとってリニアによる人の流れがあれば需要が生じるので期待している。南信州らしさを基本に接客サービス向上が永遠に続く商売なので「素晴らしい」とお褒めいただけることを続けていくのみ。が、思うようにならない。社員は、分かってはいるが、歩合給ということもあって商売に固執してしまう。どうすれば社員が商売に固執せず顧客に喜んでもらえるサービスを提供できるのか本当に悩んでいる
飯田市	卸・小売業	販売業にとってはリニアとは人を運ぶもので、企業誘致や営業所開設などに対する期待はあるが、飯田下伊那に本拠を置き税金面でも地元へ還元できる形が理想に思える。開通は人が流出するリスクを伴うので販売にとってはとても厳しくなるのではないかと。また、開通の流れに沿った商品内容、営業スタイルに変えなければならないと思うが、今は案ができていない
阿智村	飲食・宿泊業	・シンクタンクを地域を超えて作る ・情報の共有・計画や企画を実践する行動組織の立ち上げ
飯田市	卸・小売業	飯田駅で降りてもらえる魅力を確立して広く世の中に発信する必要がある。移住者を増やす面でも同じ
飯田市	建設業、窯業、砂利採取販売業	リニアの当社への効果を最大限に利用すべく人材と設備に力を入れ企業体力、体質を強化する。リニア工事後の事業展開をどうすべきか継承者とともに創出していく。飯田地域の生きる方向を早期に作り上げることが地域が取り組むべきことで、具体的なビジョンが必要。企業の将来はそのビジョンで明確になってくる
飯田市	卸・小売業	当社としては若手従業員に個々の成長を求め、12年後にさらに強い企業になっていることが大事と思う。県南の玄関口として海外にアピールできる街にしなければならぬ。飯田に資金を落とし長野に負けないインフラ整備をする
飯田市	その他	・リニア駅周辺の開発計画を早めにキャッチし導管網の充実を図る ・地域全体では環境面について議論したい。環境モデル都市としての役割を考える
阿智村	サービス業	観光業と自治体の連携を強化し、地域全体で販売商品を作っていくことが大事だと思う
飯田市	卸・小売業	リニア需要に対応を検討中
阿南町	建設業、窯業、砂利採取販売業	阿南町のような小さい単位であれば、行政と民間のタイアップ、結びつきを強くし観光に取り組むべきだと思う
飯田市	その他	地元の食材を使用したロジック風、和風の別荘を開発、紹介し、賃貸するオーナーを募って客を誘致できれば面白いのでは
飯田市	卸・小売業	リニア開業効果がどう出るかわからないが、地域や会社が発展するためには町の人材流出を防ぎ、都市部からの移住者や事業者を取り込んで人口を増やしていくこと必要
飯田市	建設業、窯業、砂利採取販売業	行政任せにしない街づくり。特に駅周辺の計画にはもっと地域や商工団体が入っても良いと思う。団体長だけ入っている会議では色々な意見が出ない
飯田市	卸・小売業	リニア開業で飯田はお客様の通過点にならないように。また、ストロー現象が起きないように。飯田は日本地図でも日本の真ん中にあることに注目していきたい

住所	業種	内容
松川町	製造業	移動時間の短縮や出張等の効率化、生産コストの改善など取り組みが必要と感じる
飯田市		自然保護
飯田市	製造業	リニア開業により人口流出にならぬよう、飯田の特色・良いところのアピールを怠らないようにして、飯田の地で頑張って事業を継続していきたい
高森町	建設業、窯業、砂利採取販売業	駅周辺にショールームまたは店舗、本社を置くことを検討している
飯田市	製造業	村の六次産業化計画に協力している
飯田市	サービス業	リニアで何かが変わることへの期待は大きい。特に若い世代の人たちに役立つ産業や開発が進むと良い。都会に出た子供たちが帰って来れるか、行き来できると良い
飯田市	その他	若者が都会に出ていかないようにする
飯田市	建設業、窯業、砂利採取販売業	リニアより三遠南信道の方が期待大
飯田市	製造業	地元住民、企業のアドバイザー的な立場にいられる行政、金融機関などが情報をもっと出していただき、どのように対応していったらよいか住民、企業の不安を取り除けるようお願いします
飯田市	サービス業	・リニア関連事業はなるべく地元で消化していけるように考える ・地元企業(中小企業)の活性化、活用
飯田市	不動産業	開通する前より影響は出てくると思う
阿南町	その他	環境破壊は最小限に、この大自然を活かした飯田下伊那地域の発展のため、自治体広域圏を中心とした全体計画の策定と実現に向けて取り組むことを期待
飯田市	卸・小売業	自治体はリニア開業を見据えた地域づくり構想を早急に策定する必要がある
飯田市	農林水産業	販路拡大
飯田市	建設業、窯業、砂利採取販売業	森林が多い自然が雄大なこの南信州を、住人達が宝だと気づくことが大切。そのための取り組みを南信州地域で行うべき
飯田市	農林水産業	東京、名古屋方面への地場産物の販売
阿智村	飲食・宿泊業	通過点にならないよう中京圏を含めた周遊できる観光プランの充実
喬木村	製造業	売上5~10%向上
喬木村	建設業、窯業、砂利採取販売業	リニア開設に伴う付帯工事、工事量の増加が見込めるため、人材の確保、現場力の強化受注に向けた設備投資など取り組む課題は多くある。開業で周囲の住環境が大きく変わる地域も出てくると思うが、共存できる地域社会を作っていくことが大切
飯田市	卸・小売業	リニア駅は単なる交通拠点でなく、丘の上以上に商業地域として考えていきたいし行政も考えてほしい
阿智村	卸・小売業	高齢化に伴い商業の維持は難しく、リニア開業を見据えれば高齢者が一線で働ける独特な商売があればよいと思う。空室が増える一方それを活用した街づくりを全体で取り組むことも必要
松本市	サービス業	現在の営業を大切にしつつも業態変換を含めこの先の成長産業への研究も行っていく。ホテル等の観光業も視野に入れたい
飯田市	製造業	一時間に1本ではなく、20分に一本の停車を目指すべき
名古屋	サービス業	・山奥の一軒家にまで電気水道はいらぬのでは。効率の良い公共投資に切り替えていく必要がある ・人目に付く住宅や商店などの個人的な建物の周辺をきれいにすることが必要 ・便利、親切、解決を旨とする行政面の整備 ・他所から来た人がホッとできるような精神的な豊かさを持ち続けること。お客様が心が温かくなって帰途についていただけるように。以上いずれも行政のリーダーシップは欠かせないと思う
飯田市	製造業	航空宇宙やメディカルバイオなど新規産業を自社に止まらず地域全体で考える取組を続けていく
阿南町	建設業、窯業、砂利採取販売業	地域全体でリニア開業後に大きな経済効果が起こるような観光開発に取り組むべきだと思う。また、他地域からの人口流入も考えて治安強化も必要と思う
飯田市	サービス業	リニア駅周辺の都市計画を
阿智村	その他	建設工事に伴う経済波及効果、開通に伴う地域経済の発展について調査研究、情報発信していく
飯田市	卸・小売業	リニア駅ができて良かったと思えるようにしたいが、先のことがまだまだ不透明で取り組み方が見えてこない
飯田市	製造業	地域一番店を目指して事業の拡大
松川町	製造業	リニアは人を運ぶものだから、物流が重要な企業の誘致は望めない。大学の誘致は若者を増やすには良いが少子化で大学が成り立っていくかどうかかわからない。都会に住む余裕ある老親の終の棲家としてのPRが一番
飯田市	製造業	直接工事にかかわることはないと思うが、不足する製品の提供や協力ができればやりたい

住所	業種	内容
飯田市	建設業、窯業、砂利採取販売業	飯田の自然や文化を活かした新たな街づくり。地元業者に仕事が回るようにしたい
阿南町	建設業、窯業、砂利採取販売業	・誰もが訪れたい街づくり。広くすっきりした道路、施設の配置を十分検討してもらいたい。もう二度とチャンスはないでしょう ・駅から1時間以内で飯田下伊那各地に行ける道路等の整備
飯田市	製造業	短時間の移動が可能のため、当地区の温泉旅館、ホテルへの宿泊がどうなるのか危惧。そのため、文化、歴史等を取り込んだ長期滞在型の観光を模索していきたい
飯田市	製造業	環境に配慮した街づくりと地域が連携したイベント(花火なども個々の地区ではなく、まとまって行う方が人が呼べる)を組む・飯田下伊那の良さを世界的にアピールする
飯田市	製造業	・製品メーカーとして市場での地位を確立すること ・地域全体では若者に夢のある事例を多く残すこと。例えば飯伊高校の甲子園出場、地元企業の上場するくらいの成長
飯田市	製造業	将来のキーワードは「農」だと考える。小ロットでも価値がありおいしく安全安心な農産物のとれる地域を目指す必要がある。管理された農地こそ自然環境そのものだと思う
喬木村	その他	この地域の自然、歴史文化を守り続けるために要素を取り入れ紹介していく
飯田市	建設業、窯業、砂利採取販売業	駅前広場や国道、アクセス道路等インフラ整備が速やかにできるよう地域の意思を整える
飯田市	サービス業	人口の一極集中で全人口は減少し始めている。東京では人口再生産の機能がなく、今後も人口は減少すると言われている。地方は子育てのできる良い環境を維持していくことが必要で、そのために域内の産業が連携し、ヒト、モノ、カネを利用し、賃金レベルを上げることも必要
飯田市	その他	活性化、地域振興のため多様な主体が情報を共有しこれまで以上に連携協力していくことが重要
高森町	建設業、窯業、砂利採取販売業	各行政や団体が個別にならないように、全体で大きな誘客集客できるプロジェクトを行う。中途半端にならないようにする
阿智村	飲食・宿泊業	観光で考えることはお客様が駅に降りたときの交通の利便。交通環境を整えなければ広いエリアに波及効果が十分ではない。リニアの到着時間に合わせたダイヤでJR、バス、自治体のバス、レンタカー、レンタバイク、自転車などありとあらゆる手段を用意する必要があると思う
飯田市	卸・小売業	品ぞろえの強化
根羽村	サービス業	人の流入という短絡的な考えより、駅ができることにより利便性が高まり地元住民が流出しやすくなることに留意したい。その結果本来地元に戻元されるべき経済利益が他所に移動してしまい流出を上回る流入を促す魅力ある施策が必要。人気ゆるキャラを見て人口が増えたり観光客でこたえ返すほど経済は甘くない。東西の都市圏へのアクセスを利用した企業誘致など検討材料が豊富なので発展に協力していきたい
飯田市	卸・小売業	きれいな街づくり
天龍村	製造業	リニアに踊ることなく自社の経営に取り組むが、情報のアンテナは張っていざというときは果敢にチャレンジしていく
飯田市	卸・小売業	自社をたくさんの人に知ってもらう
飯田市	製造業	環境保全、地域の安全への取り組み 様々な年齢層、立場の意見要望を受け入れて地域に誇りを持てるようなところに
下条村	飲食・宿泊業	アクセス道路の充実 農産物の販路の充実 観光地の充実
飯田市	サービス業	人材確保
中川村	その他	地域の人口増
飯田市	建設業、窯業、砂利採取販売業	リニア開業に向け地域でカウントダウン 次世代に誇れる工事への関わり
飯田市	建設業、窯業、砂利採取販売業	観光、工業、食料、芸術等流入人口増に係る取り組みの強化
飯田市	建設業、窯業、砂利採取販売業	県内外へ飯田の魅力を発信していく。
飯田市	サービス業	強いリーダーシップでまちづくり出していくことが重要
飯田市	製造業	利便性と共に特色ある存在となるための施策をストーリー性を持って取り組む
飯田市	建設業、窯業、砂利採取販売業	・駅周辺はそれなりの広さの土地を確保すべき ・補助金で村おこし、街おこしを考えるのではなく、起業者(精神)を掘り起こし、伸ばしていくことに取り組むこと

(11) リニア開業を見据え金融機関に対する期待は

- ・「リニア開業を見据え、地域金融機関に対する期待」について、それぞれたくさんのご意見をいただいた。
- ・これらを地域の皆様からの貴重なエールと受け止め、この調査結果を通じての地域への提言、そして、飯田信用金庫が取り組んでいるあるいはこれから取り組もうと考えている事項を具体的な施策としてIV章で述べることにします。

図表Ⅱ-3-14 金融機関に対する期待（自由記入）

（ ）内は複数意見の場合の数

金融機能面	融資	低利の融資(5) 新規開業者・創業者への融資(3) 設備資金、運転資金の融資(2) 必要なときの融資(2) 事業拡大の借入(2) 地域向け融資を(2) 活力ある業界のための融資 地元企業をサポートする金融システムを 整備計画やそれに伴う企業の施策に対する融資 情報提供とアドバイス+資金提供 簡単に借りられるシステム 長い目で見た融資 リニア開業により移住者や新規開業者が増えた場合の資金 融資対象の拡充 農業、製造業への融資 ものづくりへの金融支援 貸出枠の拡大と緩和
	預金	リニア開通までの記念積立(2) 高金利の預金商品
	その他	地域の金融機関としての役割 現実的な投資を、未来あるビジョンに対しての投資 縁、人縁を活かしたより一層の地域密着・独自商品 奨学金制度で個人にも教育の機会を 若者の企業のためのベンチャーキャピタルを 海外送金を円滑、簡単に リニア長野県駅への出店
経営相談		経営状況を分析して適切なアドバイスを 地元企業優先の相談役に 地域の事業所の健全化
情報発信		土地に関する情報の発信 業種ごとの情報提供 情報の収集力の強化、発信の迅速化 情報提供とアドバイス+資金提供 金融機関ならではの情報を 活用できる情報発信を 情報の提供(2) 県、国の助成金導入指導・人材紹介 地域力が上がるグローバルな提案 空家情報を 融資内容の見える化 先進地の取り組み情報を
経営サポート		新規開業者への支援 創業支援に関する支援 整備計画やそれに伴う企業の施策に対し支援 移住者や新規開業者が増えた場合のアドバイスなどの支援



	企業の体質強化ができる支援 都会にはない魅力を発信したいと思っている企業家の応援を
ビジネスマッチング活動	企業間の連携やM&Aの活用 全国の企業の誘致、上伊那地区との連携 M&Aで雇用を拡大
資産運用サポート	資産運用の助言、支援
経済団体、行政、地域の つなぎ役	養育、若者、就活、婚活、終活、観光の核となるイベントなど このアンケートや経営者の意見を基に飯田市のビジョンを提案、行政にもどんだん口出しを 地域の企業と強い関係を 独自の青写真を 村と連携した取り組みに 域住民と手を携えて住みやすい土地柄、安定した地域、希望を持てる故郷の構築 地域産業支援や街づくりなど金融機関が先頭に 地元資本企業を応援 企業と共にまちづくりに
その他	現状で良い(3) 柔軟な対応を フットワークの充実を それぞれの立場で貢献しましょう 頑張ってください



#### 4. アンケート調査のまとめ

- ①当調査は、飯田信用金庫経営相談所が毎月発刊している、「飯伊地域産業経済動向」の調査先および送付先を主体に（回答数 60先）、その他一般の当金庫お取引先（160先）が回答の中心である。したがって、多様な回答者構成ではあるものの、その回答者の属性の構成比からみれば、無作為抽出による調査と比較してどちらかといえば経済界、産業界からの意見等がより反映されたものになっているといえる。
- ②回答者の居住地域としては、飯田市（約6割）、下伊那郡（約3割）、地域外（1割）と、広範囲にわたり、地域的に飯伊地域の市町村も限定されておらず、性別、年齢的にも偏りなく分散している。
- ③I章で分析した当地域の人口問題について、アンケート結果でも当地域の皆さまが同様の認識を持っていることが判明した。若い人が高校を卒業して進学等でこの地域を離れていかざるを得ないこと、学卒者がこの地域に戻ってこないこと、子供を生み育てやすい地域とはいえず子育てに対する支援の要望が多いこと、人口の高齢化に対する環境整備への要望など、これらは既に行政においても課題として認識されていることでもあるが、改めて当地域の課題として捉えていくものである。それだけに、簡単に解決するものではないが、地域の知恵を集め、皆で取り組んでいくことと考える。
- ④事業所調査は、事業経営に関わる方々に回答いただいたもので、地域の皆さまの現状認識や意識の現状が窺われた。それぞれの分野において今後の方針、対応等に生かしていただければ幸いである。
- ⑤各アンケート調査項目について、選択肢で回答するものにも、「その他」で具体的な記述が多く見られ、自由記入項目は、更に数多くの事項を記入いただいている。回答いただいた皆さまのリニア時代を迎える地域に対する「思い入れ」を強く感じられる内容であった。
- ⑥地域資源等については、当地域に様々な地域資源があることが明らかとなった。この多様性を当地域の特長として認め、飯伊地域内に点在するそれぞれの「点」を結びつけ、地域全体で「面」としての魅力を表出していけるような“何か”が今求められているのではないかと考えられる。
- ⑦この調査は、今後も定期的にも実施することにより、定点観測的な当地域の変化を見ていくものとした。また、リニア中央新幹線沿線や三遠南信地域などより広域的な地域の皆さまのご意見をうかがいながら、三遠南信自動車道を含めリニア中央新幹線の開通という当地域の大きな環境変化に対して継続的に調査、分析、発信していきたいと考える。